

清涼飲料水容器のリサイクルに関する 消費者意識調査2024 報告書

2024年12月

全国清涼飲料連合会

調査協力機関：株式会社インテージリサーチ

項目	内容						
調査目的	本調査は、清涼飲料水容器のリサイクルに関する消費者意識を調査し把握することで、リサイクル推進の課題や妨げになっていることを浮き彫りにするとともに、啓発・事業活動の成果指標とすることを目的として実施した。						
調査手法	インターネットモニター調査						
対象者条件	全国の15～69歳男女（母集団準拠）のうち、外出先でペットボトル飲料を飲用する人						
除外条件	モニター登録属性の「業種：調査/マスコミ/広告代理店」は除外						
標本抽出方法	インターネットモニターより条件合致者を抽出						
調査期間	2024年10月11日～10月16日						
調査対象	有効回答数：1,033サンプル（スクリーニング調査有効回答数：1,223サンプル）						
謝礼の種類	ポイント制謝礼						
本報告書の留意点	<p>本報告書の数表は、TOTALを基準とした比率の差の検定（有意水準5%）結果を色分け表示し、有意な差がみられた結果を中心にコメントしている。</p> <table border="1" data-bbox="461 968 1195 1089"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="461 968 1195 1011">■ 検定・ポイント差情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="461 1011 876 1053">比率の差の検定</td> <td data-bbox="876 1011 1195 1053">有意水準5%で高い</td> </tr> <tr> <td data-bbox="461 1053 876 1089">対TOTAL行</td> <td data-bbox="876 1053 1195 1089">有意水準5%で低い</td> </tr> </tbody> </table>	■ 検定・ポイント差情報		比率の差の検定	有意水準5%で高い	対TOTAL行	有意水準5%で低い
■ 検定・ポイント差情報							
比率の差の検定	有意水準5%で高い						
対TOTAL行	有意水準5%で低い						

報告書の見方

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の割合（%）は、その質問の回答者数（n：number of caseの略）を基数として算出している。したがって、複数回答の質問は全ての割合を合計すると100.0%を超えることがある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。
- クロス集計の図表では、分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性（性別／年齢別など）でnが少ないもの（30人未満）は、標本誤差が大きくなるため、参考として図示しているが、分析の対象からは除いている。

【自宅での分別・排出】

- 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか。
 - 「キャップ・ラベルともに外している」77.4%。他方、「キャップ・ラベルともに外していない」12.0%
 - 外したキャップの排出方法：「容器包装プラスチックとして出す」43.5%、「個別にリサイクルに出す」32.1%
 - 外したラベルの排出方法：「容器包装プラスチックとして出す」50.3%、「可燃ごみとして出す」36.4%
 - キャップやラベルを外さない理由：「手間がかかり面倒だから」44.2%、「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」32.1%
- ペットボトルのキャップ、ラベルがリサイクルされるなら、個別に集めるか。
 - 「キャップ」69.0%、「ラベル」61.0%
- 自宅でペットボトルを排出する際に、中身は「空にしている」96.8%
- 「3分別」に協力したいと思うか。
 - 協力したいと思うの割合：「キャップを外す」93.7%、「ラベルをはがす」94.1%、「中身を空にする」96.5%

【屋外での分別・排出】

- 外出先（屋外）で飲み終わったペットボトルはどうしているか。
 - 「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」51.4%、「自宅に持ち帰る」43.1%
- 自動販売機横のボックスはリサイクルボックスであることを「知っている」70.8%
- リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を「入れたことがある」22.3%
 - 入れたことがあるもの：「プラカップ」52.6%、「レジ袋」20.0%、「お菓子の袋」16.1%
 - 入れた理由：「ほかに入れる場所がなかった」47.4%、「缶・びん・ペットボトル以外を入れてはいけないことを知らなかった」33.0%、「家まで持ち帰りたくなかった」20.4%
- リサイクルボックスに、中身を残したまま飲料容器を「入れたことがある」10.7%
- 飲料容器のリサイクルに関する認知状況
 - 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」であることを「知っていた」57.4%
 - 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることを「知っていた」47.7%

【公共空間でのリサイクルボックス等認知】

- 公共のごみ箱やリサイクルボックスは「必要だと思う」85.4%
 - ごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所：「駅」83.3%、「公共機関」76.8%、「公園」56.0%
- 新機能の自動販売機横のリサイクルボックスを「知っていた」37.9%

【ペットボトルのリサイクル認知】

- 飲んだあとのペットボトルはどうなっていると思うか。
 - 「資源としてリサイクルされている」 80.8%、「燃やされている」 5.9%、「埋め立てられている」 3.4%
- ペットボトルのリサイクル認知
 - ペットボトルが資源として、リサイクルされていること：92.2%
 - 日本のペットボトルはリサイクル率87%であること：26.7%
 - ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」：55.7%
 - ペットボトルは単一素材であるためリサイクルに適していること：35.5%
- ペットボトルはリサイクルされて何になると思うか。
 - 「ペットボトル」 65.9%、「衣類」 54.1%、「トレー」 40.4%
- ペットボトルのリサイクルに特に期待すること。
 - 「ごみの削減」 80.0%、「資源の有効活用」 54.3%、「CO2排出抑制」 46.9%
- 今後、清涼飲料水容器のリサイクルに「取り組みたい」 96.0%

【自宅での分別・排出】

- 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか
 - 「キャップ・ラベルともに外している」が最も高く、77.4%。「キャップ・ラベルともに外していない」12.0%、「キャップだけ外している」5.8%が続く。
 - 「キャップ・ラベルともに外している」は女性50～60代が8割台と高く、「キャップだけ外している」は男性20代が16.4%と高くなっている。一方、「キャップ・ラベルともに外していない」は女性20代が24.6%と高い。
 - ✓ Q1
- 外したキャップはどのようにしているか
 - 「容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、43.5%。「個別にリサイクルに出す」32.1%、「可燃ごみとして出す」22.5%が続く。
 - 男性20代は「容器包装プラスチックとして出す」が63.3%と高く、「個別にリサイクルに出す」が18.4%と低くなっている。
 - ✓ Q2(1)
- 外したラベルはどのようにしているか
 - 「容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、50.3%。「可燃ごみとして出す」36.4%、「不燃ごみとして出す」9.1%が続く。
 - 「不燃ごみとして出す」は男性20代が18.6%と高く、男性60代が2.4%と低くなっている。「容器包装プラスチックとして出す」は男性30代が34.5%と低い。
 - ✓ Q2(2)
- ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由
 - 「手間がかかり面倒だから」が最も高く、44.2%。「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」32.1%、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」23.7%が続く。
 - 「手間がかかり面倒だから」は男性50代が20.7%と他と比べて低い（参考値）。
 - ✓ Q3

結果概要（設問別）

ペットボトルの分別・排出に関する実態・意識

【自宅での分別・排出】

- ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら、個別に集めるか
 - 「個別に集める」は69.0%となっている。
 - 「個別に集める」は女性50代が82.7%、女性60代が78.6%と高い一方、男性30代は56.8%、男性40代は59.7%と低い。
✓ Q4(1)
- ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら、個別に集めるか
 - 「個別に集める」は61.0%となっている。
 - 「個別に集める」は女性50代が74.5%、女性60代が70.9%と高い一方、男性30代は49.4%、男性40代は52.1%と低い。
✓ Q4(2)
- 自宅でペットボトルを排出する際に中身は空にしているか
 - 「中身は空にしている」は96.8%となっている。
 - 「中身は空にしている」は全体的に高い割合となっているが、女性20代は89.5%と低い。
✓ Q5
- ペットボトルの中身を空にしない理由
 - 「中身をどうするか、わからないから」が最も高く、50.0%。「手間がかかり面倒だから」43.3%、「中身は空にしなくてよいと思っている」16.7%が続く。
 - 性年代別では差が見られなかった。
✓ Q6

結果概要（設問別）

ペットボトルの分別・排出に関する実態・意識

【自宅での分別・排出】

- 「3分別」にどの程度協力したいと思うか:キャップを外す
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は93.7%となっている。
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性50代が99.1%、女性20代と女性60代がともに97.1%と高い。
✓ Q7(1)
- 「3分別」にどの程度協力したいと思うか:ラベルをはがす
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は94.1%となっている。
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性20代と女性50代がともに100%、女性60代が97.1%と高い。
✓ Q7(2)
- 「3分別」にどの程度協力したいと思うか:中身を空にする
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は96.5%となっている。
 - 「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性20代と女性50代がともに100%、女性60代が99.0%と高い。
✓ Q7(3)

結果概要（設問別）

ペットボトルの分別・排出に関する実態・意識

【屋外での分別・排出】

- 普段、外出先（屋外）で飲み終わったペットボトルは、どのようにしているか
 - 「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」が最も高く、51.4%。「自宅に持ち帰る」43.1%、「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」42.3%が続く。
 - 「自宅に持ち帰る」は女性60代が64.9%、女性50代が57.4%と高い。「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」は男性30代が54.7%、「ごみ箱に入れる」は男性30代が56.0%、男性40代が50.4%と高くなっている。
✓ Q8
- 自動販売機横のボックスはリサイクルボックスであることの認知度
 - 「知っている」は70.8%となっている。
 - 「知っている」は男性60代が86.7%、女性60代が83.5%と高い一方、男性40代が59.7%、女性10代が51.4%と低い。
✓ Q9
- リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を入れたことがあるか
 - 「入れたことがある」は22.3%となっている。
 - 「入れたことがある」は男性20代が32.9%、男性40代が31.1%と高い一方、女性50代が12.7%、女性60代が8.7%と低い。
✓ Q10
- リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外で入れたことがあるもの
 - 「プラカップ」が最も高く、52.6%。「レジ袋」20.0%、「お菓子の袋」16.1%が続く。
 - 男性30代は「レジ袋」（47.8%）が高く、女性30代は「プラカップ」（30.4%）が低い（参考値）。
✓ Q11
- リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のものを入れた理由
 - 「ほかに入れる場所がなかった」が最も高く、47.4%。「缶・びん・ペットボトル以外を入れてはいけないことを知らなかった」33.0%、「家まで持ち帰りたくなかった」20.4%が続く。
 - 「家まで持ち帰りたくなかった」は男性30代が39.1%と他と比べて高い（参考値）。
✓ Q12

【屋外での分別・排出】

- リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れたことがあるか
 - 「入れたことがある」は10.7%となっている。
 - 「入れたことがある」は男性20代が21.4%、女性20代が23.9%と他と比べて高い一方、女性50代が2.7%、女性60代が1.9%と低い。
✓ Q13
- リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れた理由
 - 「手間がかかり面倒だから」が最も高く、47.7%。「中身をどうするか、わからないから」40.5%、「中身は空にしなくて良いと思っている」24.3%が続く。
 - 性年代別では差が見られなかった。
✓ Q14
- 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」であることの認知度
 - 「知っていた」は57.4%となっている。
 - 「知っていた」は男性60代が67.6%、女性60代が72.8%、女性50代が67.3%と高い一方、女性30代が44.0%、女性20代が41.8%と低い。
✓ Q15
- 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることの認知度
 - 「知っていた」は47.7%となっている。
 - 「知っていた」は女性60代が64.1%、女性50代が61.8%、男性60代が58.1%と高い一方、男性40代が38.7%、女性30代が34.5%、女性20代が32.8%と低い。
✓ Q16

結果概要（設問別）

ペットボトルのリサイクルに関する実態・意識

【公共空間でのリサイクルボックス等認知】

- 公共のごみ箱やリサイクルボックスは必要だと思うか
 - 「必要だと思う」は85.4%となっている。
 - 「必要だと思う」は女性60代が77.7%と低くなっている。
 - ✓ Q17
- 公共のごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所
 - 「駅」が最も高く、83.3%。「公共機関」76.8%、「公園」56.0%が続く。
 - 「公共機関」は男性60代が86.0%と高い。
 - ✓ Q18
- 新機能の自動販売機横のリサイクルボックスの認知度
 - 「知っていた」は37.9%となっている。
 - 「知っていた」は男性20代が57.1%と高い一方、女性40～60代が2割台と低い。
 - ✓ Q19

結果概要（設問別）

ペットボトルのリサイクルに関する実態・意識

【ペットボトルのリサイクル認知】

- 飲み終わった後のペットボトルは、回収された後どのように処理されていると思うか
 - 「資源としてリサイクルされている」が最も高く、80.8%。「燃やされている」5.9%、「埋め立てられている」3.4%が続く。
 - 「資源としてリサイクルされている」は女性60代が94.2%と他と比べて高い。男性20代は「燃やされている」12.9%、「埋め立てられている」10.0%が高くなっている。
 - ✓ Q20
- ペットボトルが資源として、リサイクルされていることの認知度
 - 「知っていた」は92.2%となっている。
 - 「知っていた」は男性60代が98.1%、女性60代が99.0%と高い。
 - ✓ Q21(1)
- 日本のペットボトルはリサイクル率87%であることの認知度
 - 「知っていた」は26.7%となっている。
 - 「知っていた」は男性20代が41.4%と高い。
 - ✓ Q21(2)
- ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」の認知度
 - 「知っていた」は55.7%となっている。
 - 「知っていた」は女性60代が70.9%と高い一方、女性30代が40.5%と低い。
 - ✓ Q21(3)
- ペットボトルは単一素材であるためリサイクルに適していることの認知度
 - 「知っていた」は35.5%となっている。
 - 「知っていた」は男性20代が57.1%、女性20代が47.8%と高い一方、女性30～50代は2割台と低い。
 - ✓ Q22

結果概要（設問別）

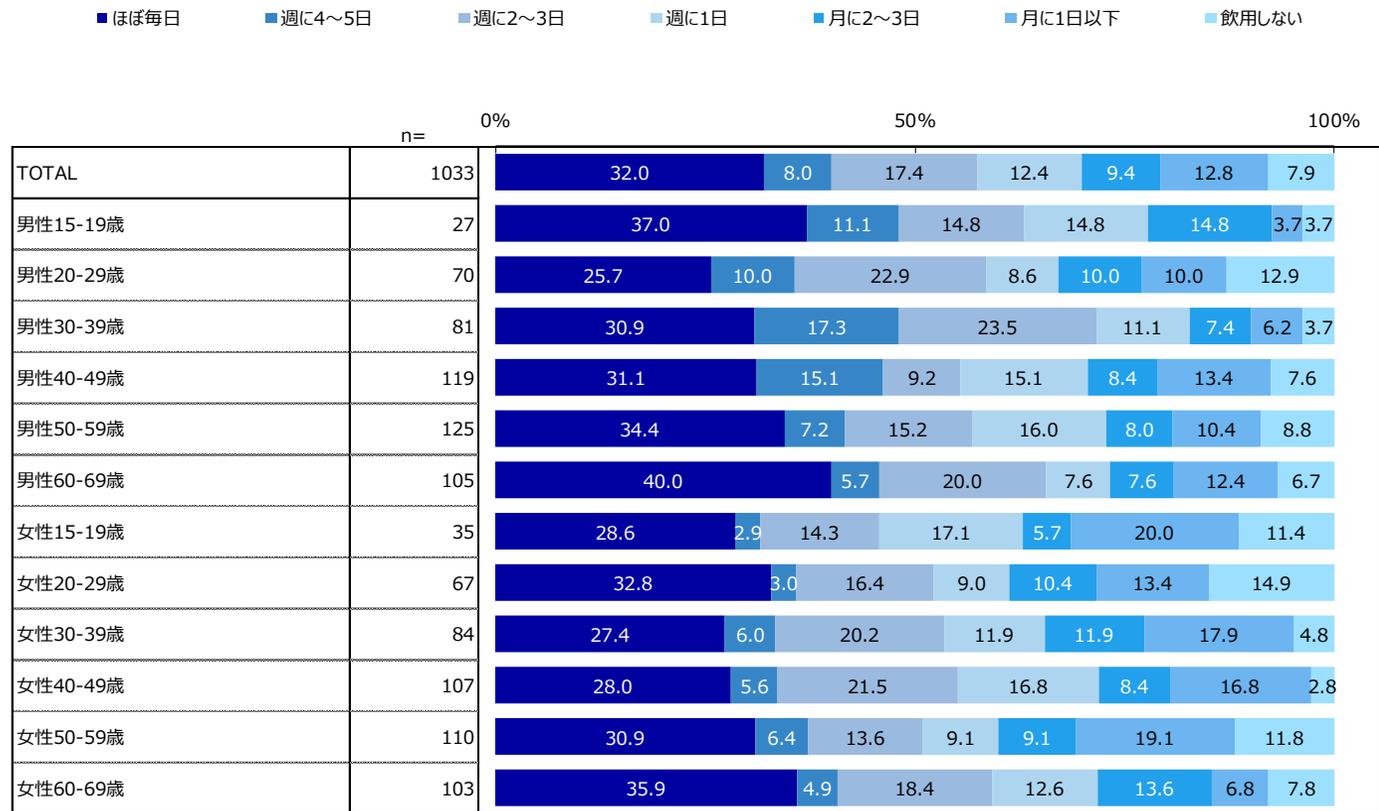
ペットボトルのリサイクルに関する実態・意識

【ペットボトルのリサイクル認知】

- ペットボトルはリサイクルされて何になると思うか
 - 「ペットボトル」が最も高く、65.9%。「衣類」54.1%、「トレー」40.4%が続く。
 - 「プラカップ」は女性60代が38.8%と高い。
 - ✓ Q23
- ペットボトルのリサイクルに特に期待すること
 - 「ごみの削減」が最も高く、80.0%。「資源の有効活用」54.3%、「CO2排出抑制」46.9%が続く。
 - 女性50代は「資源の有効活用」（64.5%）、「天然資源の使用量削減」（45.5%）、「脱炭素」（38.2%）が高い。また、女性60代は他と比べて「資源の有効活用」（65.0%）、「資源循環への貢献」（58.3%）が高くなっている。
 - ✓ Q24
- 今後、清涼飲料水容器のリサイクルにどの程度積極的に取り組むか
 - 「取り組みたい（TOP2項目の合計）」は96.0%となっている。
 - 「取り組みたい（TOP2項目の合計）」は女性10代と女性50代が100%、女性60代が98.0%と高い。
 - ✓ Q25

ペットボトル飲料を飲む頻度:自宅での飲用(SA)

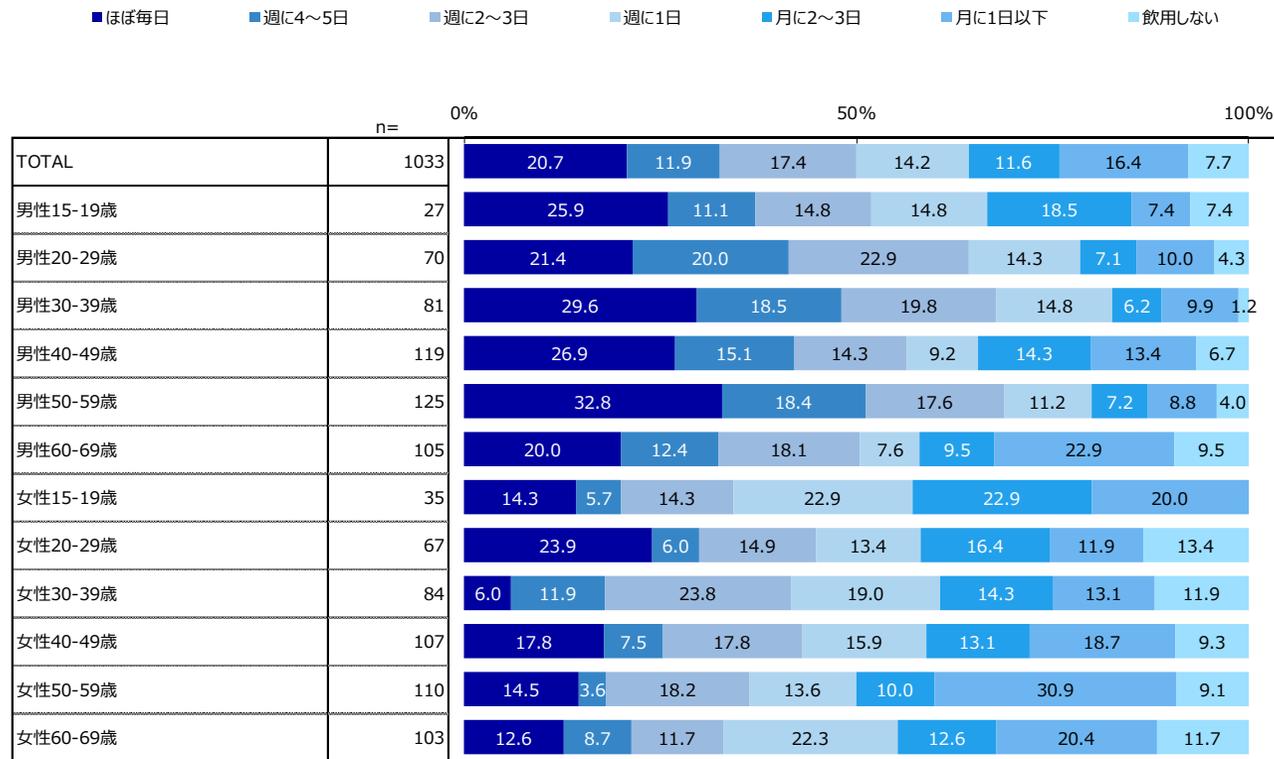
- TOTALでは、「ほぼ毎日」が最も高く、32.0%。「週に2~3日」17.4%、「月に1日以下」12.8%が続く。
- 性年代別にみると、男性30~40代は他と比べて「週に4~5日」が高い（男性30代：17.3%、男性40代：15.1%）。



SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでいきますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。:自宅での飲用

ペットボトル飲料を飲む頻度:外出先（オフィスや学校など屋内）での飲用(SA)

- TOTALでは、「ほぼ毎日」が最も高く、20.7%。「週に2〜3日」17.4%、「月に1日以下」16.4%が続く。
- 性年代別にみると、男性50代は他と比べて「ほぼ毎日」（32.8%）、「週に4〜5日」（18.4%）が高く、男性20代も「週に4〜5日」（20.0%）が高い。また、女性60代は「週に1日」（22.3%）、女性50代は「月に1日以下」（30.9%）が他と比べて高くなっている。

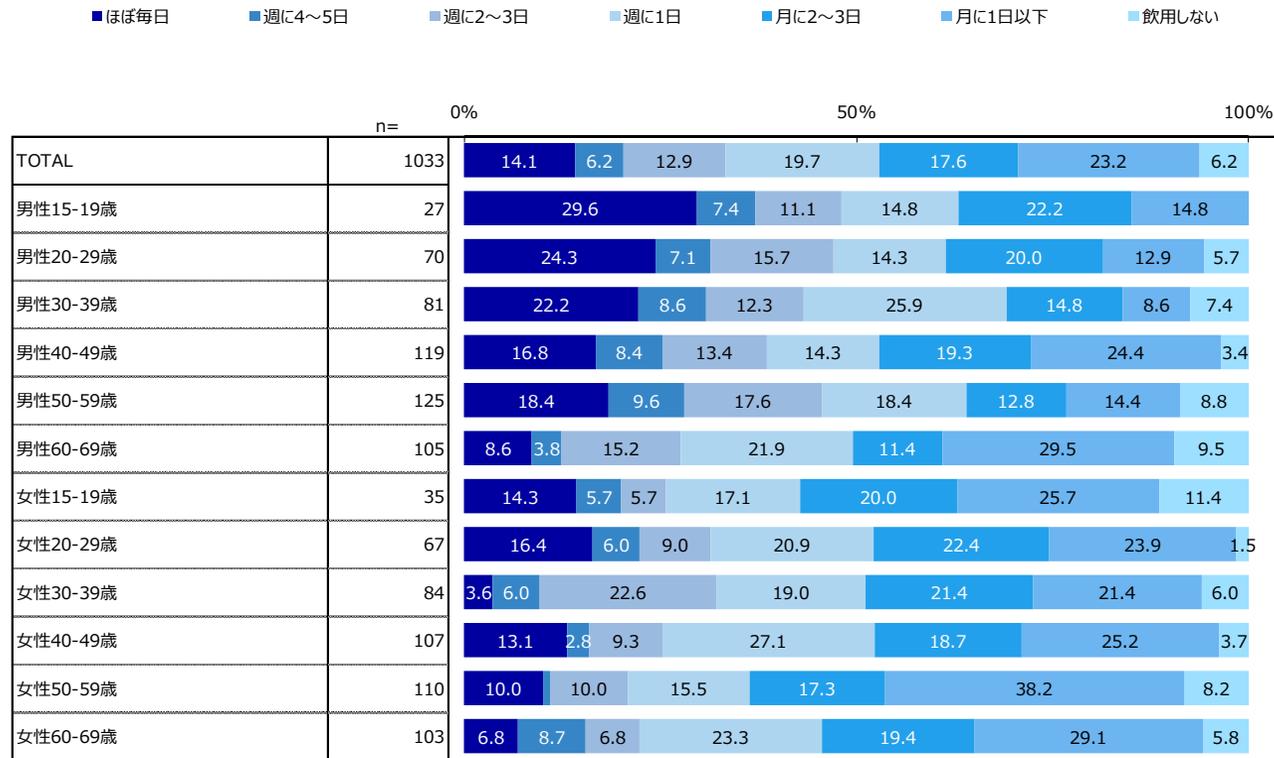


非表示：1%未満

SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。:外出先（オフィスや学校など屋内）での飲用

ペットボトル飲料を飲む頻度:外出先（屋外）での飲用(SA)

- TOTALでは、「月に1日以下」が最も高く、23.2%。「週に1日」19.7%、「月に2～3日」17.6%が続く。
- 性年代別にみると、男性20～30代は他と比べて「ほぼ毎日」が高い（男性20代：24.3%、男性30代：22.2%）。また、女性30代は「週に2～3日」（22.6%）、女性50代は「月に1日以下」（38.2%）が他と比べて高くなっている。

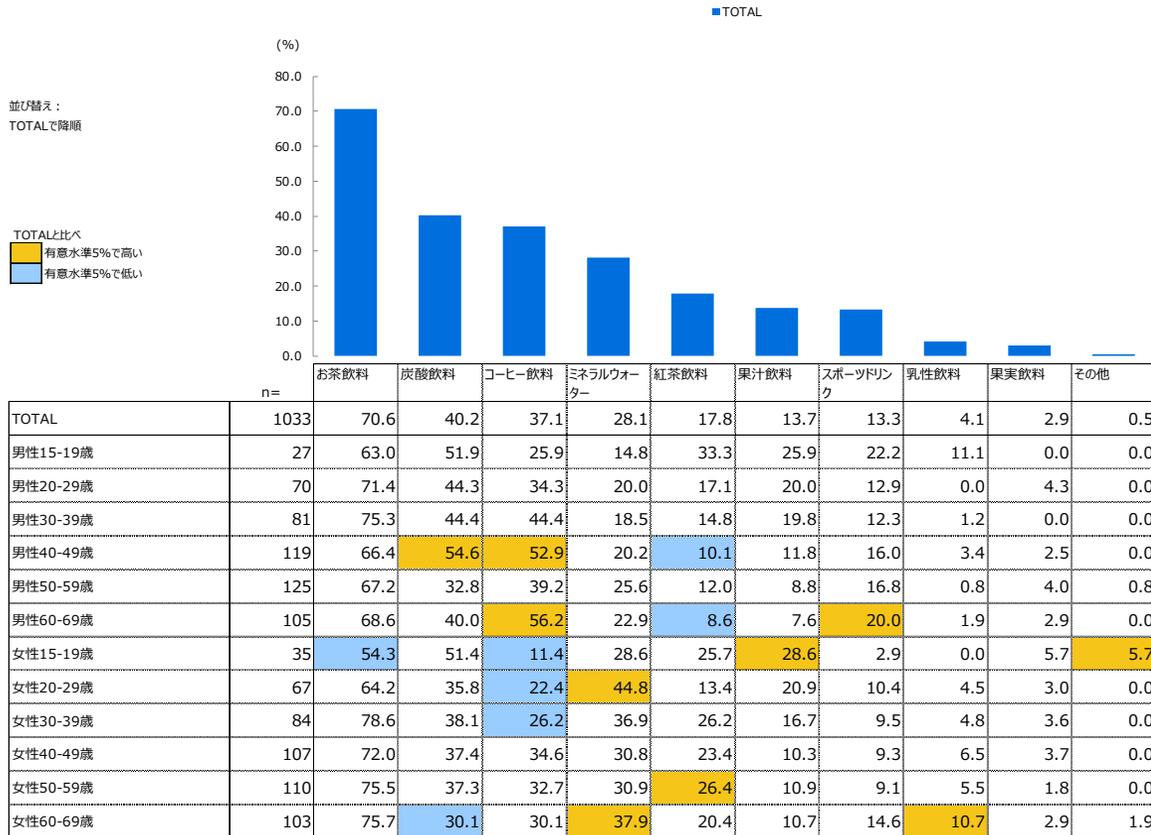


非表示：1%未満

SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでいますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。:外出先（屋外）での飲用

普段飲んでいる清涼飲料水の 카테고리 (MA)

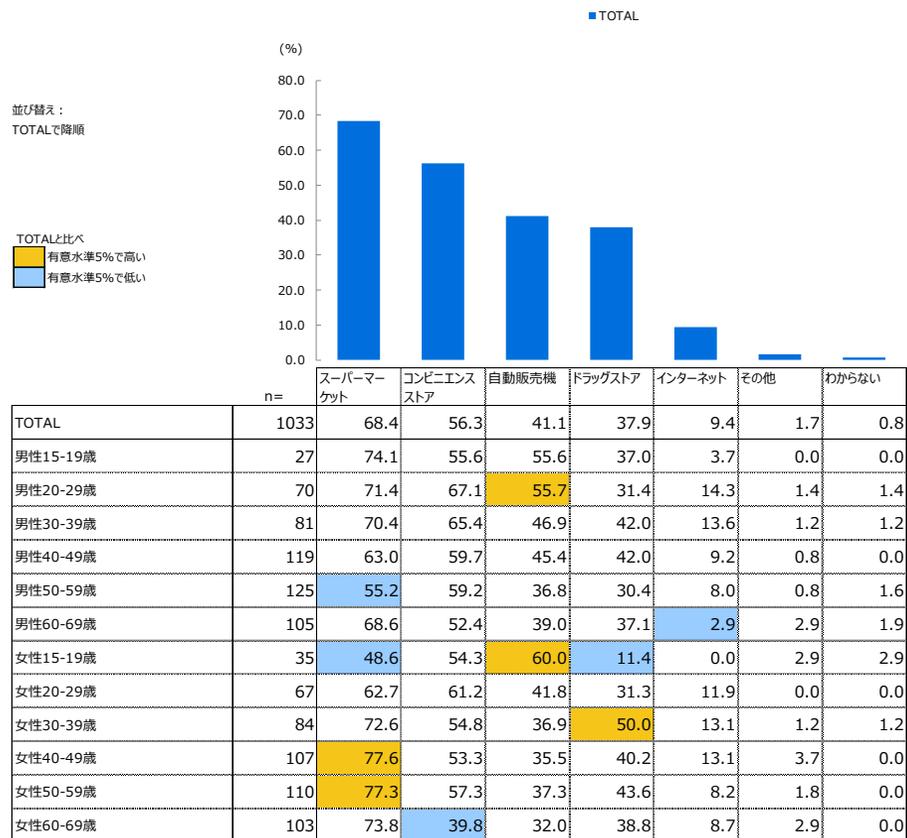
- TOTALでは、「お茶飲料」が最も高く、70.6%。「炭酸飲料」40.2%、「コーヒー飲料」37.1%が続く。
- 性年代別にみると、男性40代は他と比べて「炭酸飲料」（54.6%）、「コーヒー飲料」（52.9%）が高く、男性60代も「コーヒー飲料」（56.2%）が高い。また、女性20代・60代は「ミネラルウォーター」（女性20代：44.8%、女性60代：37.9%）、「女性50代は「紅茶飲料」（26.4%）が他と比べて高くなっている。



SCRQ4 普段飲んでいる清涼飲料水の 카테고리をお答えください。（複数回答可。頻度が高いものから3つまで）

普段、清涼飲料水を購入する場所(MA)

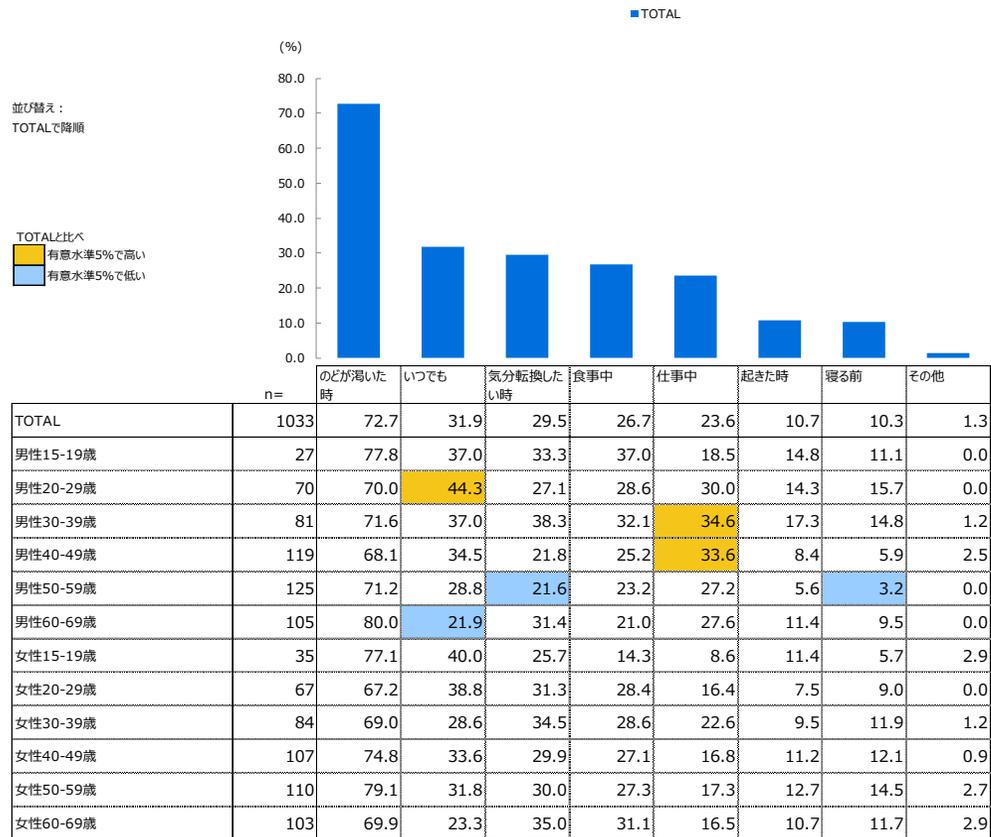
- TOTALでは、「スーパーマーケット」が最も高く、68.4%。「コンビニエンスストア」56.3%、「自動販売機」41.1%が続く。
- 性年代別にみると、女性40～50代は他と比べて「スーパーマーケット」が高い（女性40代：77.6%、女性50代：77.3%）。また、女性10代・男性20代は「自動販売機」（女性10代：60.0%、男性20代：55.7%）、女性30代は「ドラッグストア」（50.0%）が他と比べて高くなっている。



SCRQ5 普段、清涼飲料水を購入する場所をお答えください。（複数回答可）

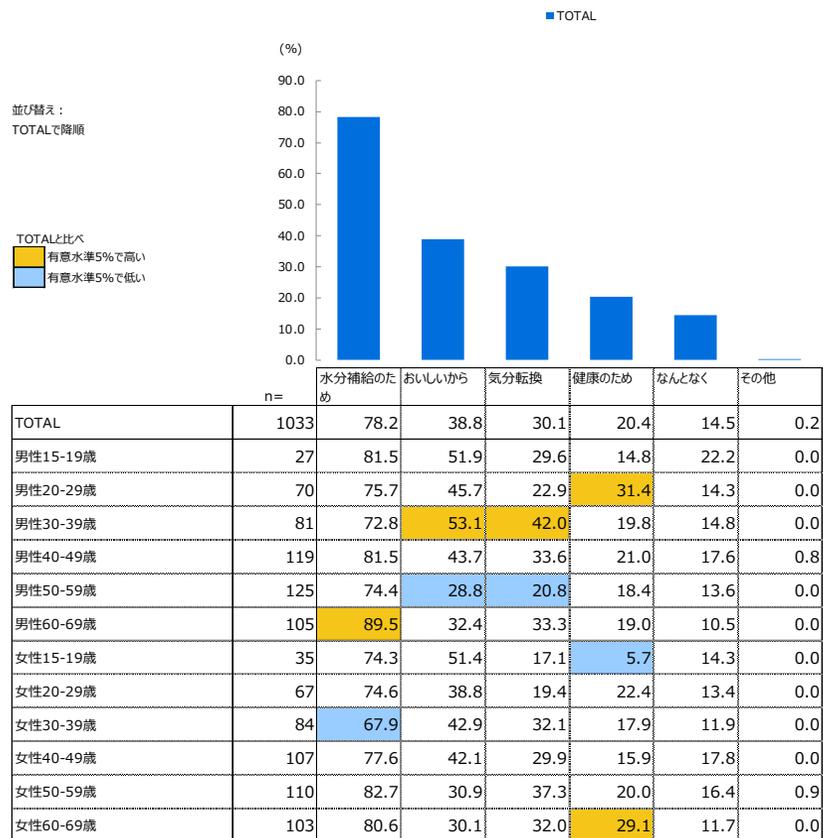
清涼飲料水はどんな時に飲むか(MA)

- TOTALでは、「のどが渴いた時」が最も高く、72.7%。「いつでも」31.9%、「気分転換したい時」29.5%が続く。
- 性年代別にみると、男性20代は「いつでも」（44.3%）、男性30～40代は「工作中」（男性30代：34.6%、男性40代：33.6%）が他と比べて高い。



清涼飲料水を飲む理由(MA)

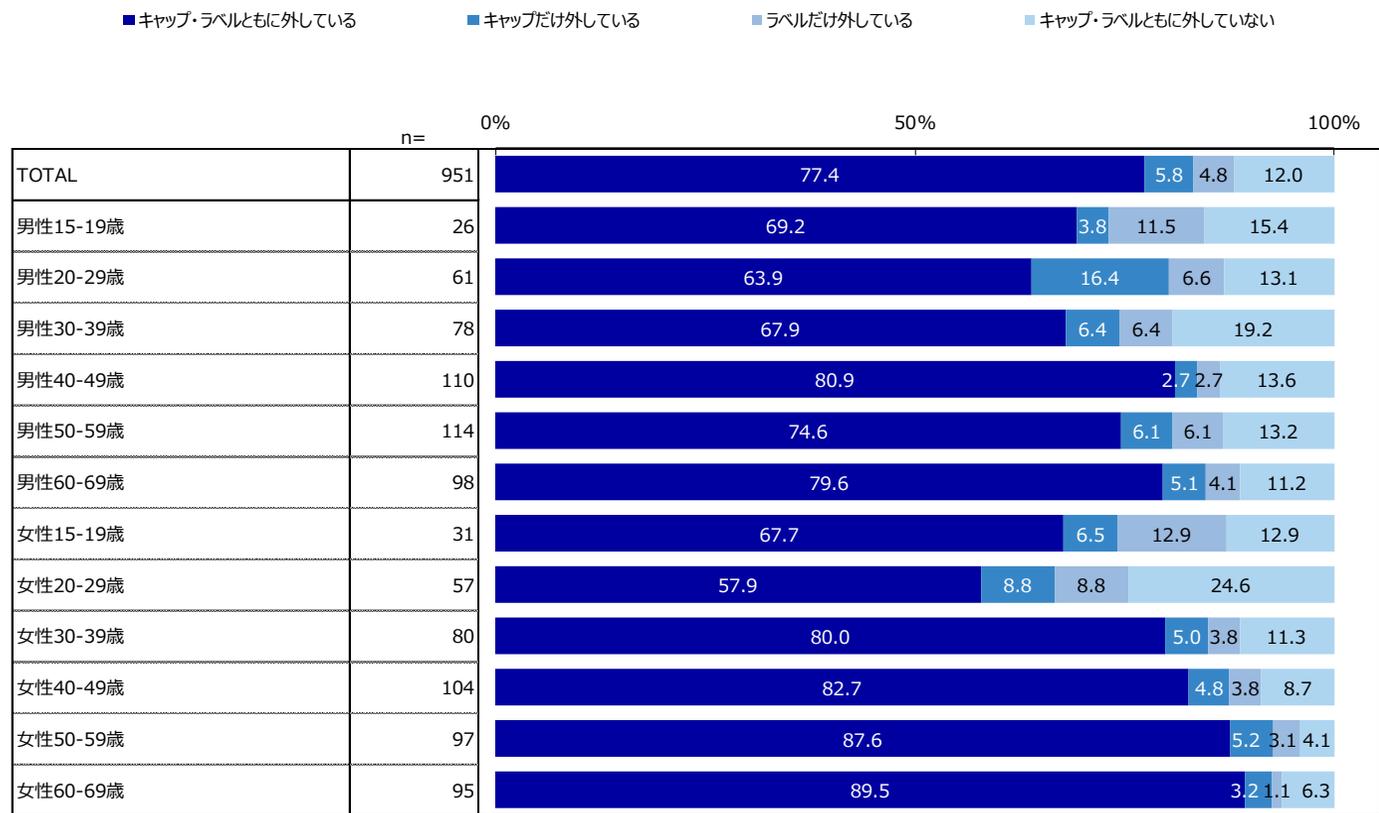
- TOTALでは、「水分補給のため」が最も高く、78.2%。「おいしいから」38.8%、「気分転換」30.1%が続く。
- 性年代別にみると、男性60代は「水分補給のため」（89.5%）、男性30代は「おいしいから」（53.1%）と「気分転換」（42.0%）が他と比べて高い。また、男性20代と女性60代は「健康のため」が他と比べて高くなっている（男性20代：31.4%、女性60代：29.1%）。



SCRQ7 清涼飲料水を飲む理由であてはまるものをお答えください。（複数回答可）

自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか(SA)

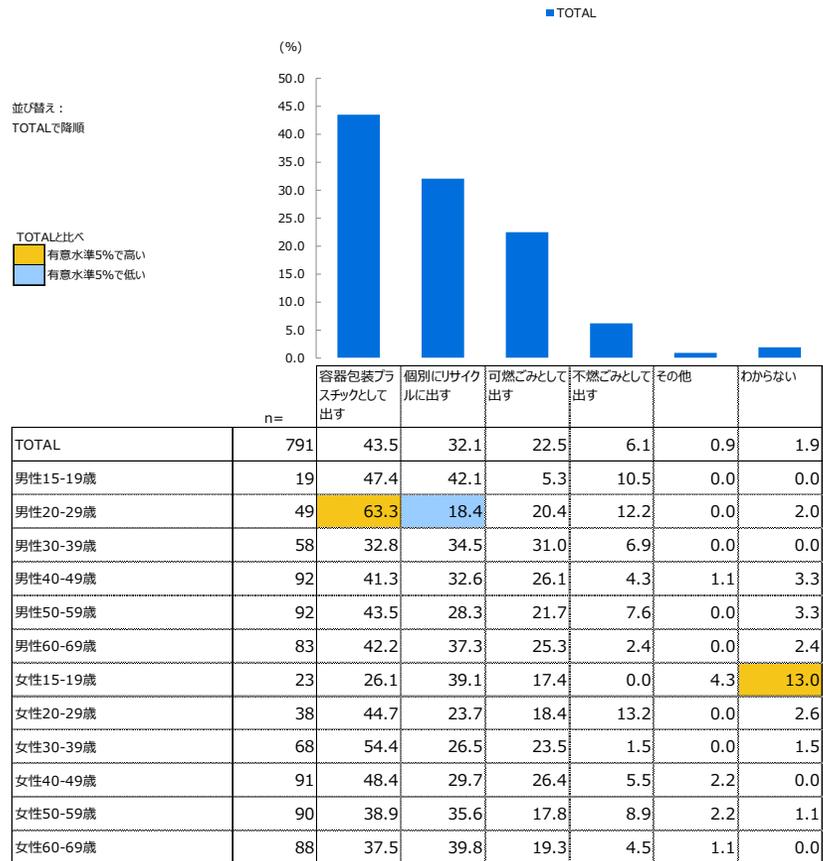
- TOTALでは、「キャップ・ラベルともに外している」が最も高く、77.4%。「キャップ・ラベルともに外していない」12.0%、「キャップだけ外している」5.8%が続く。
- 性年代別にみると、「キャップ・ラベルともに外している」は他と比べて女性50～60代が8割台と高く、「キャップだけ外している」は男性20代が16.4%と高くなっている。一方、「キャップ・ラベルともに外していない」は女性20代が24.6%と高い。



Q1 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外していますか。自宅でのペットボトルの排出方法についてお聞きます。

外したキャップはどのようにしているか(MA)

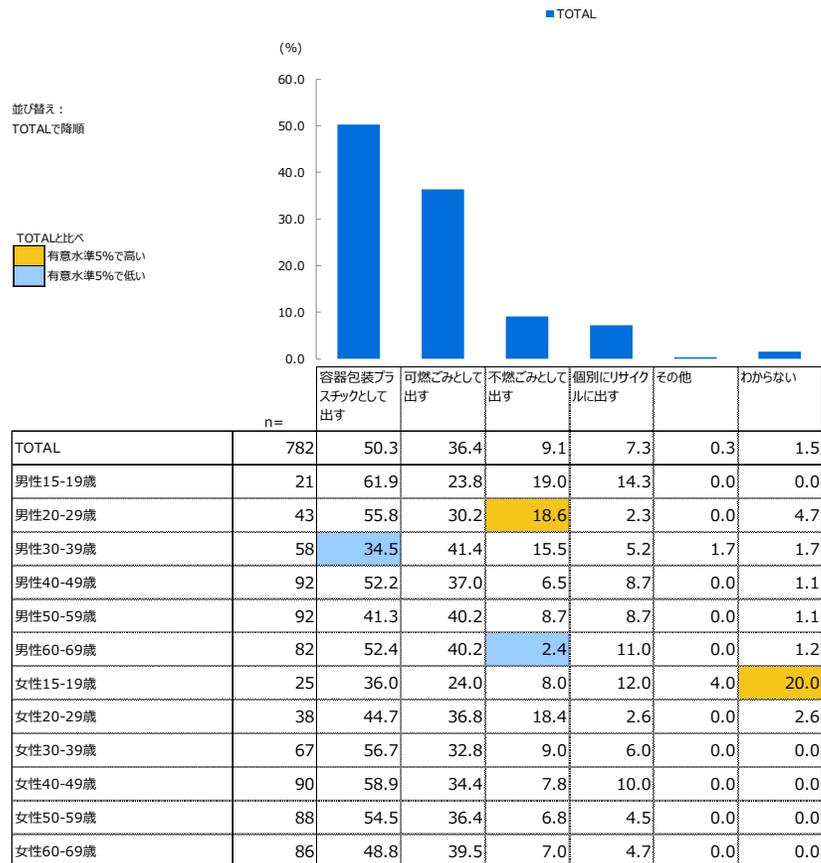
- TOTALでは、「容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、43.5%。「個別にリサイクルに出す」32.1%、「可燃ごみとして出す」22.5%が続く。
- 性年代別にみると、男性20代は「容器包装プラスチックとして出す」が他と比べて63.3%と高く、「個別にリサイクルに出す」が18.4%と低くなっている。



Q2 外したキャップやラベルはどのようにしていますか。(複数回答可) 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップまたはラベルを外す方にお聞きます。:キャップ

外したラベルはどのようにしているか(MA)

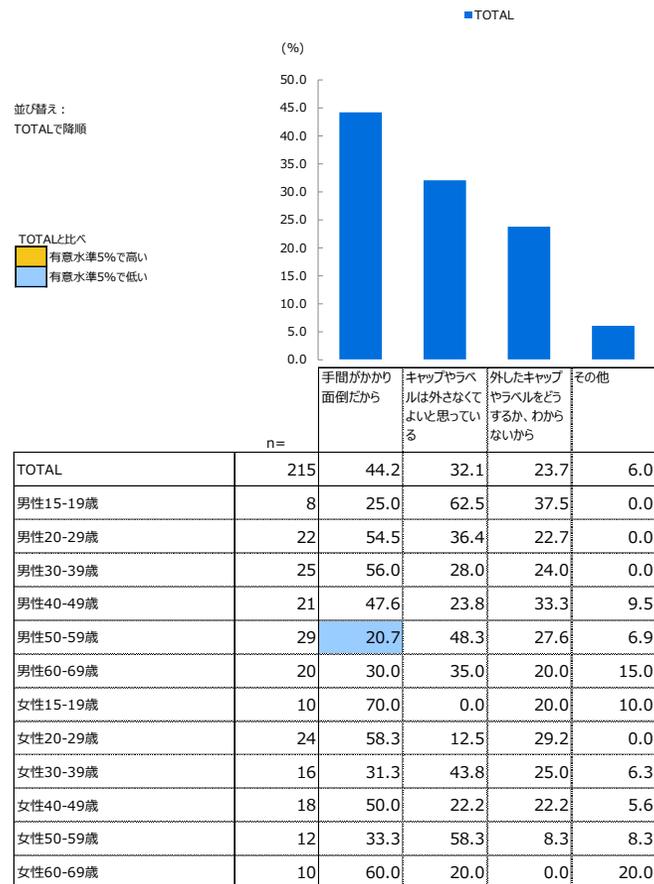
- TOTALでは、「容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、50.3%。「可燃ごみとして出す」36.4%、「不燃ごみとして出す」9.1%が続く。
- 性年代別にみると、「不燃ごみとして出す」は他と比べて男性20代が18.6%と高く、男性60代が2.4%と低くなっている。「容器包装プラスチックとして出す」は男性30代が34.5%と低い。



Q2 外したキャップやラベルはどのようにしていますか。(複数回答可) 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップまたはラベルを外す方にお聞きます。:ラベル

ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由(MA)

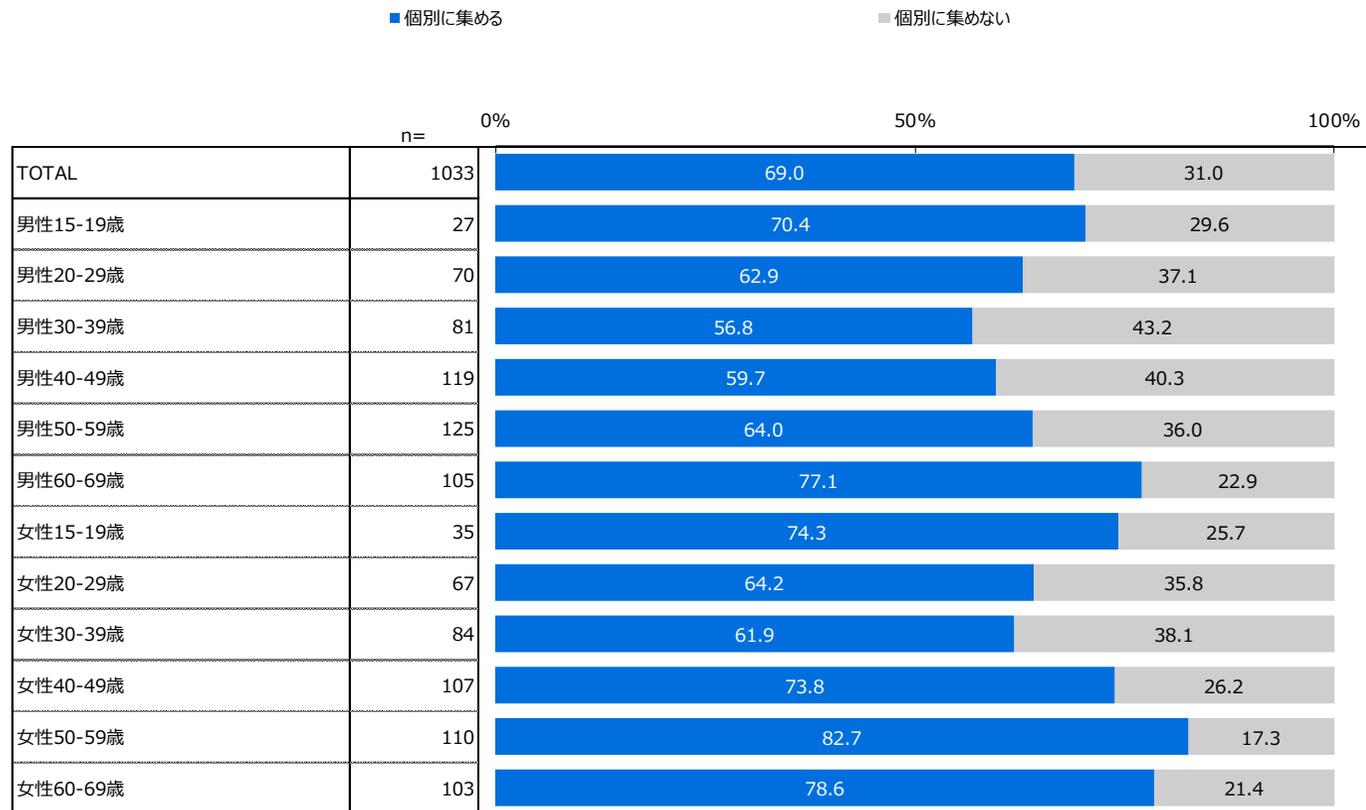
- TOTALでは、「手間がかかり面倒だから」が最も高く、44.2%。「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」32.1%、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」23.7%が続く。
- 性年代別にみると、「手間がかかり面倒だから」は男性50代が20.7%と他と比べて低い（参考値）。



Q3 ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由をお答えください。（複数回答可） 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップまたはラベルを外さない方にお聞きます。

ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら、個別に集めるか(SA)

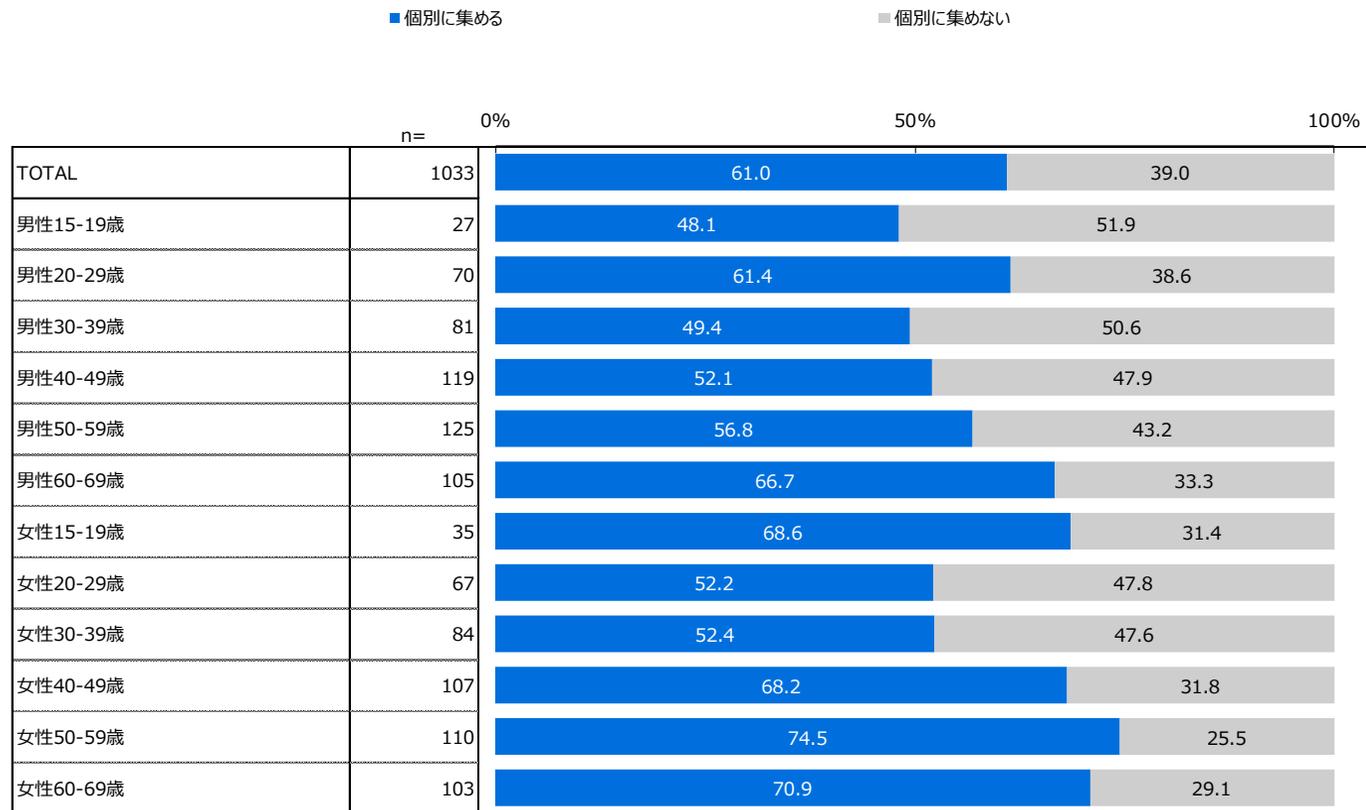
- TOTALでは、「個別に集める」は69.0%となっている。
- 性年代別にみると、「個別に集める」は女性50代が82.7%、女性60代が78.6%と他と比べて高い一方、男性30代は56.8%、男性40代は59.7%と低い。



Q4 ペットボトルのキャップやラベルのリサイクルについてお聞きます。:ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら、個別に集めますか。

ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら、個別に集めるか(SA)

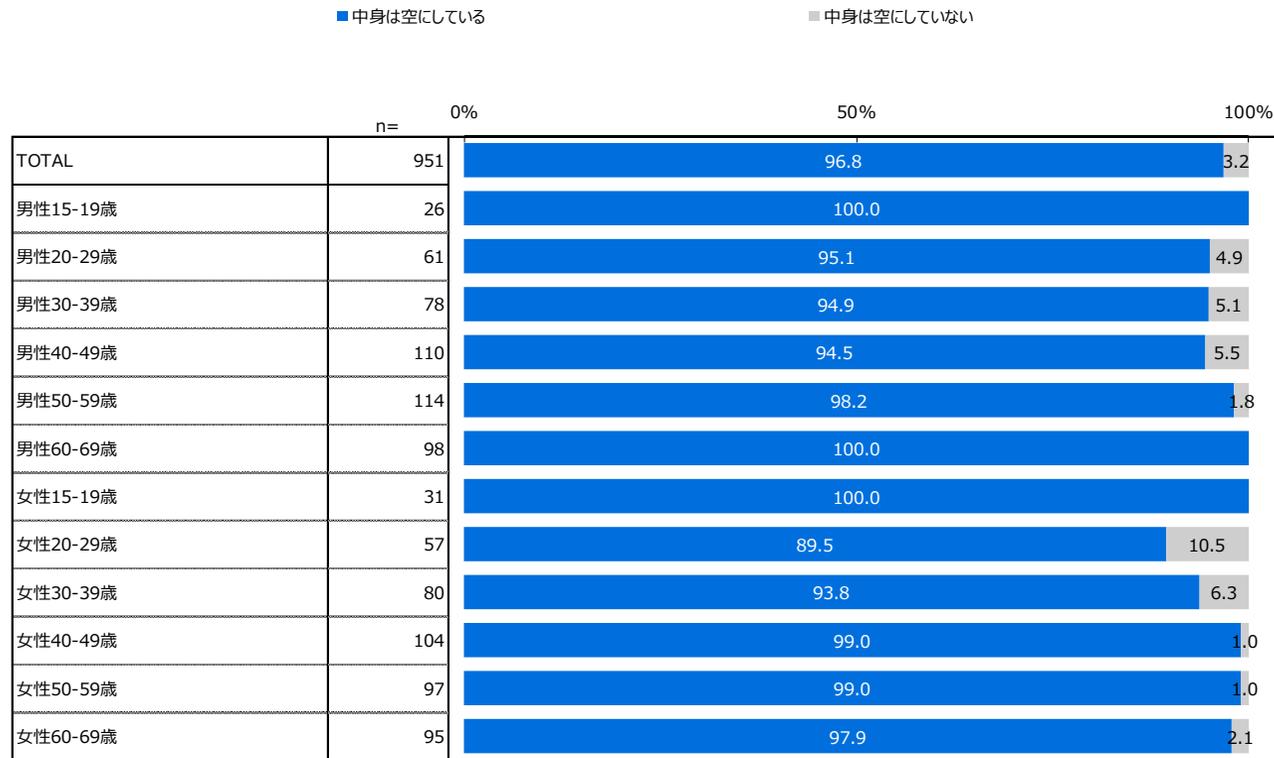
- TOTALでは、「個別に集める」は61.0%となっている。
- 性年代別にみると、「個別に集める」は女性50代が74.5%、女性60代が70.9%と他と比べて高い一方、男性30代は49.4%、男性40代は52.1%と低い。



Q4 ペットボトルのキャップやラベルのリサイクルについてお聞きます。:ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら、個別に集めますか。

自宅でペットボトルを排出する際に中身は空にしているか(SA)

- TOTALでは、「中身は空にしている」は96.8%となっている。
- 性年代別にみると、「中身は空にしている」は全体的に高い割合となっているが、女性20代は89.5%と他と比べて低い。

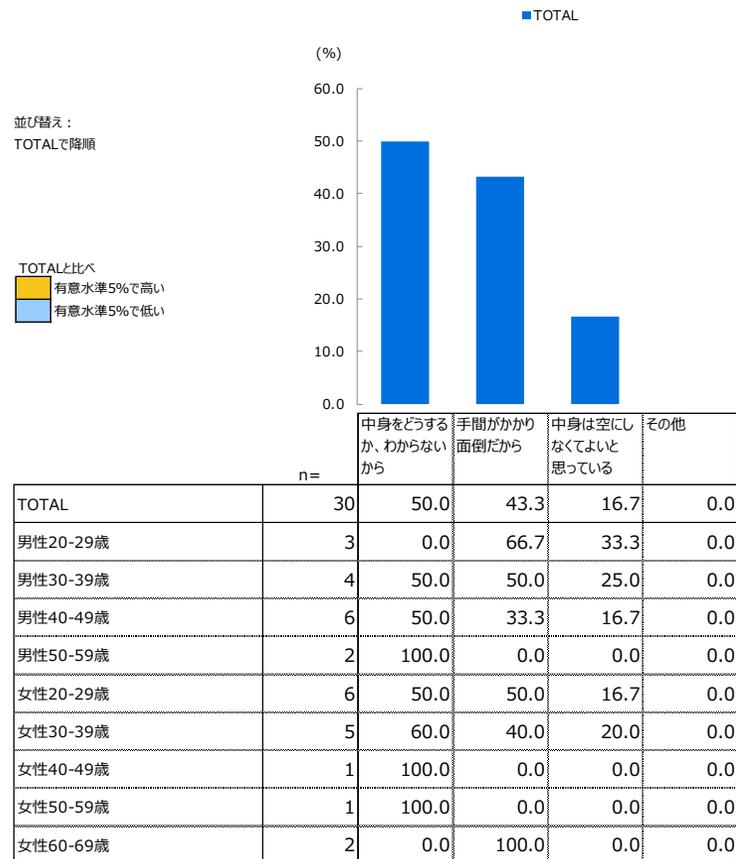


非表示：1%未満

Q5 自宅でペットボトルを排出する際に中身は空にしていますか。

ペットボトルの中身を空にしない理由(MA)

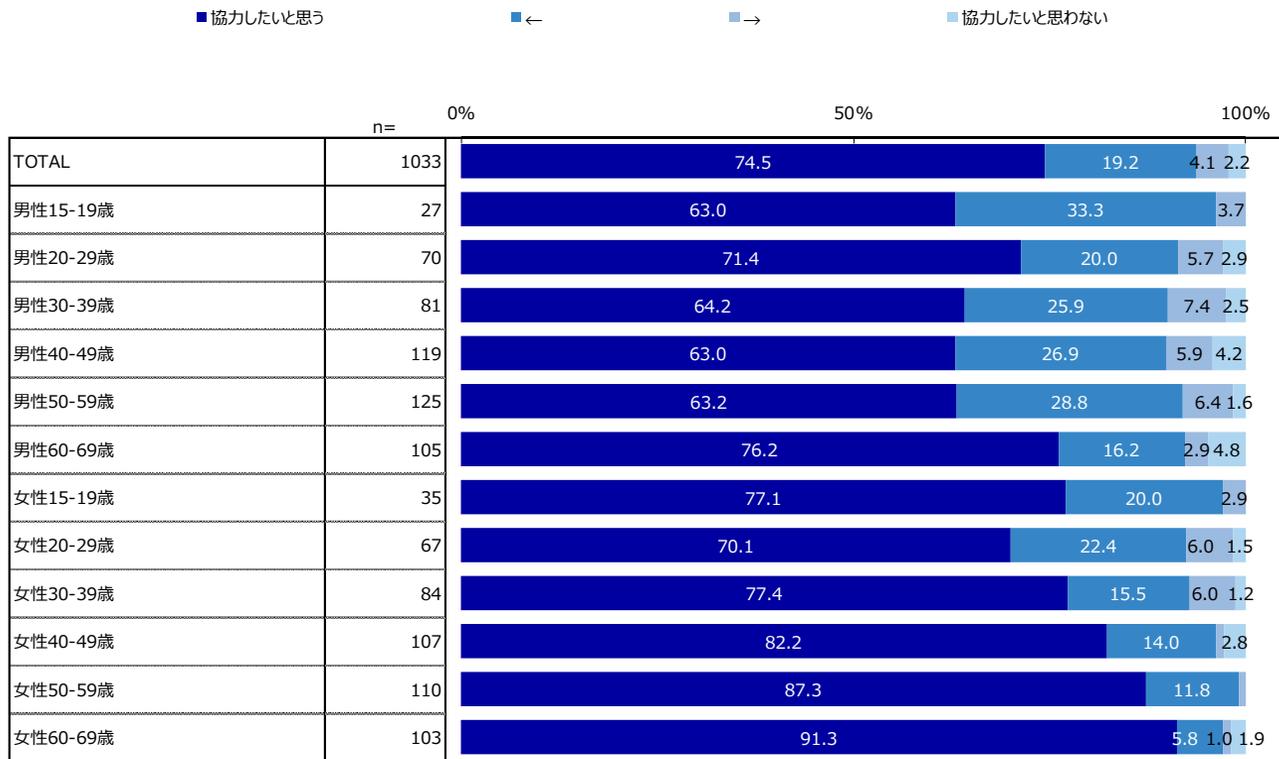
- TOTALでは、「中身をどうするか、わからないから」が最も高く、50.0%。「手間がかかり面倒だから」43.3%、「中身は空にしないでよいと思っている」16.7%が続く。
- 性年代別では差が見られなかった。



Q6 中身を空にしない理由をお答えください。（複数回答可） 自宅で飲み終わったペットボトルの中身を空にしない方にお聞きます。

「3分別」にどの程度協力したいと思うか:キャップを外す(SA)

- TOTALでは、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は93.7%となっている。
- 性年代別にみると、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性50代が99.1%、女性20代と女性60代がともに97.1%と他と比べて高い。



非表示：1%未満

Q7 ペットボトルを排出する際に、キャップやラベルをはずし、中身を空にするとリサイクルが進みます。そういった「3分別」にどの程度協力したいと思いますか。それぞれについてお答えください。:キャップを外す

「3分別」にどの程度協力したいと思うか:ラベルをはがす(SA)

- TOTALでは、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は94.1%となっている。
- 性年代別にみると、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性20代と女性50代がともに100%、女性60代が97.1%と他と比べて高い。

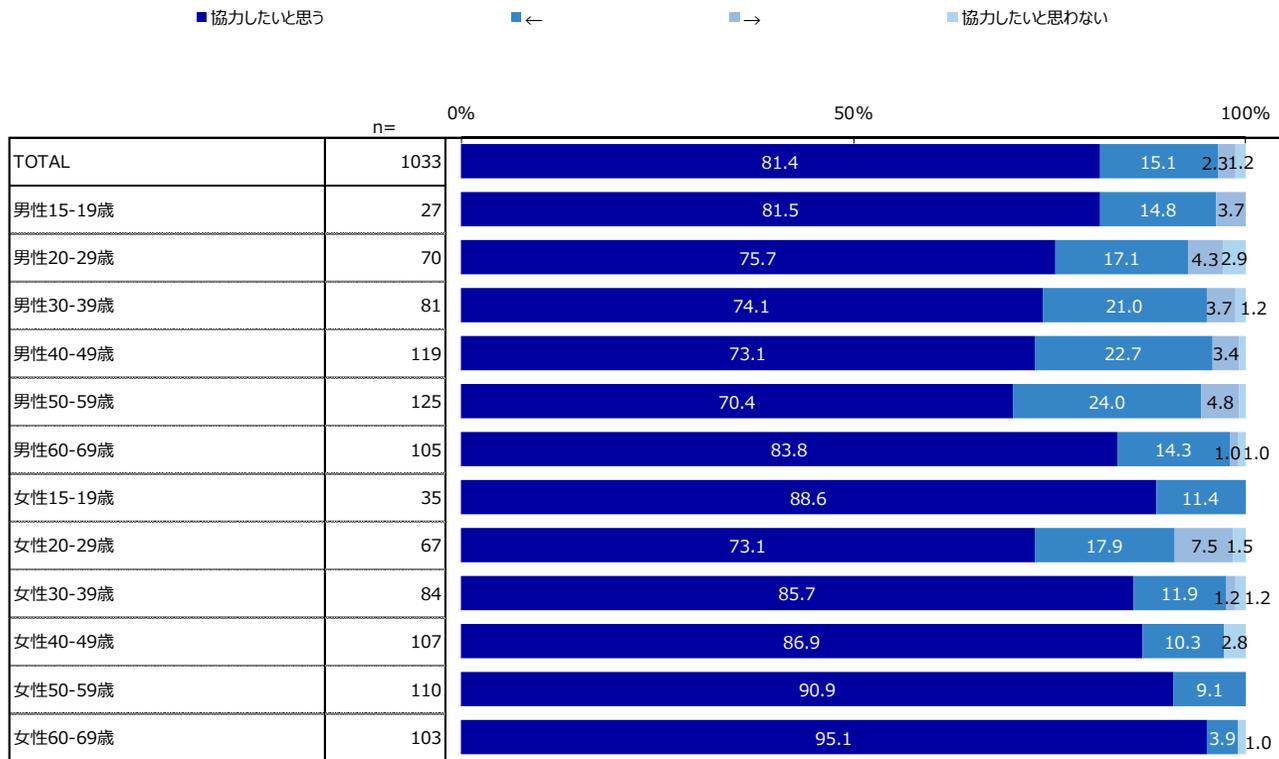


非表示：1%未満

Q7 ペットボトルを排出する際に、キャップやラベルをはずし、中身を空にするとリサイクルが進みます。そういった「3分別」にどの程度協力したいと思いますか。それぞれについてお答えください。:ラベルをはがす

「3分別」にどの程度協力したいと思うか:中身を空にする(SA)

- TOTALでは、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は96.5%となっている。
- 性年代別にみると、「協力したいと思う（TOP2項目の合計）」は女性20代と女性50代がともに100%、女性60代が99.0%と他と比べて高い。

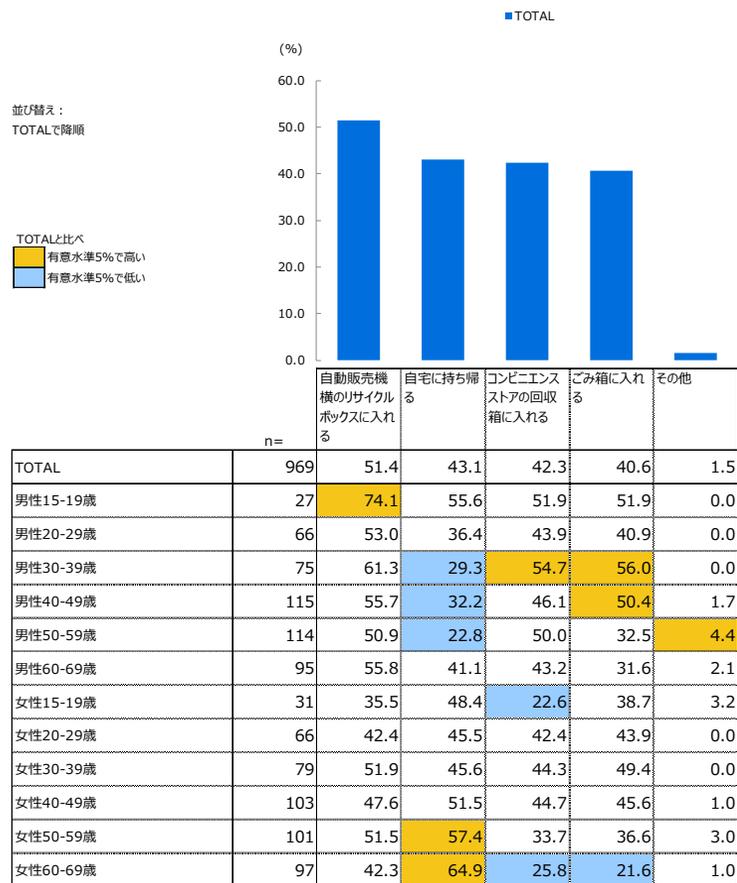


非表示：1%未満

Q7 ペットボトルを排出する際に、キャップやラベルをはずし、中身を空にするとリサイクルが進みます。そういった「3分別」にどの程度協力したいと思いますか。それぞれについてお答えください。:中身を空にする

普段、外出先（屋外）で飲み終わったペットボトルは、どのようにしているか(MA)

- TOTALでは、「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」が最も高く、51.4%。「自宅に持ち帰る」43.1%、「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」42.3%が続く。
- 性年代別にみると、「自宅に持ち帰る」は女性60代が64.9%、女性50代が57.4%と他と比べて高い。「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」は男性30代が54.7%、「ごみ箱に入れる」は男性30代が56.0%、男性40代が50.4%と高くなっている。



Q8 あなたは普段、外出先（屋外）で飲み終わったペットボトルは、どのようにしていますか。（複数回答可）

自動販売機横のボックスはリサイクルボックスであることの認知度(SA)

- TOTALでは、「知っている」は70.8%となっている。
- 性年代別にみると、「知っている」は男性60代が86.7%、女性60代が83.5%と他と比べて高い一方、男性40代が59.7%、女性10代が51.4%と低い。

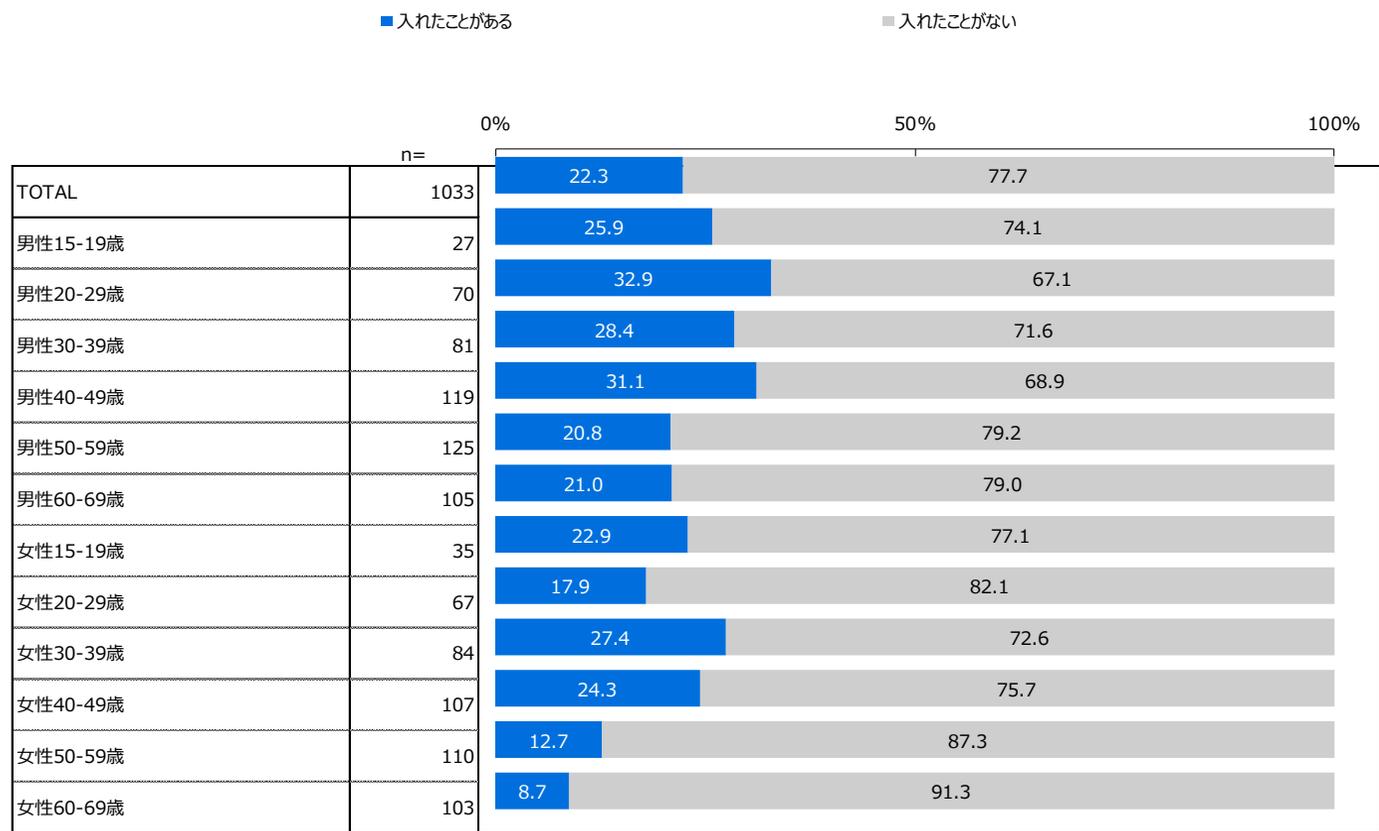


Q9 自動販売機横のボックスはごみ箱ではなく、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器を回収するためのリサイクルボックスであることを知っていますか。

リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を入れたことがあるか(SA)



- TOTALでは、「入れたことがある」は22.3%となっている。
- 性年代別にみると、「入れたことがある」は男性20代が32.9%、男性40代が31.1%と他と比べて高い一方、女性50代が12.7%、女性60代が8.7%と低い。

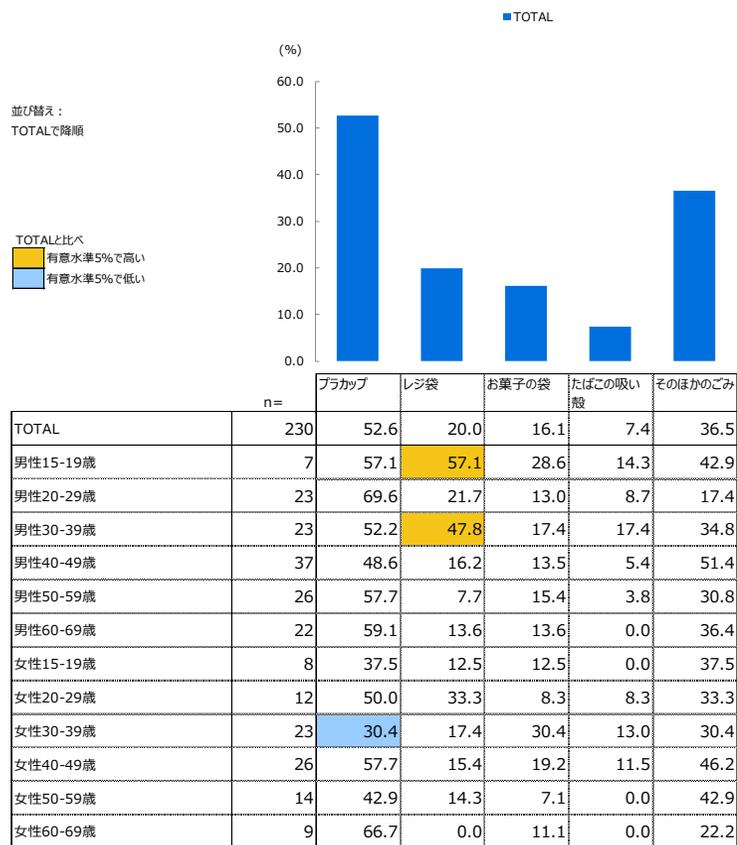


Q10 自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を入れたことがありますか。

リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外で入れたことがあるもの (MA)



- TOTALでは、「プラカップ」が最も高く、52.6%。「レジ袋」20.0%、「お菓子の袋」16.1%が続く。
- 性年代別にみると、他と比べて、男性30代は「レジ袋」（47.8%）が高く、女性30代は「プラカップ」（30.4%）が低い（参考値）。

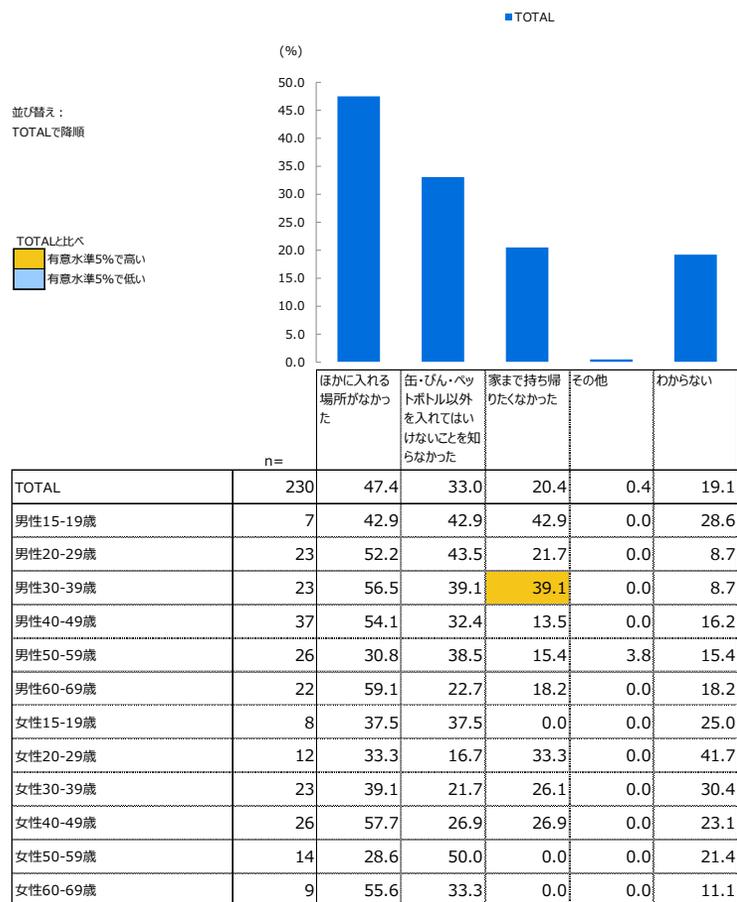


Q11 自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外で入れたことがあるものは何ですか。（複数回答可）
前問で、自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を「入れたことがある」と答えた方にお聞きます。

リサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のものを入れた理由(MA)



- TOTALでは、「ほかに入れる場所がなかった」が最も高く、47.4%。「缶・びん・ペットボトル以外を入れてはいけないことを知らなかった」33.0%、「家まで持ち帰りたくなかった」20.4%が続く。
- 性年代にみると、「家まで持ち帰りたくなかった」は男性30代が39.1%と他と比べて高い（参考値）。

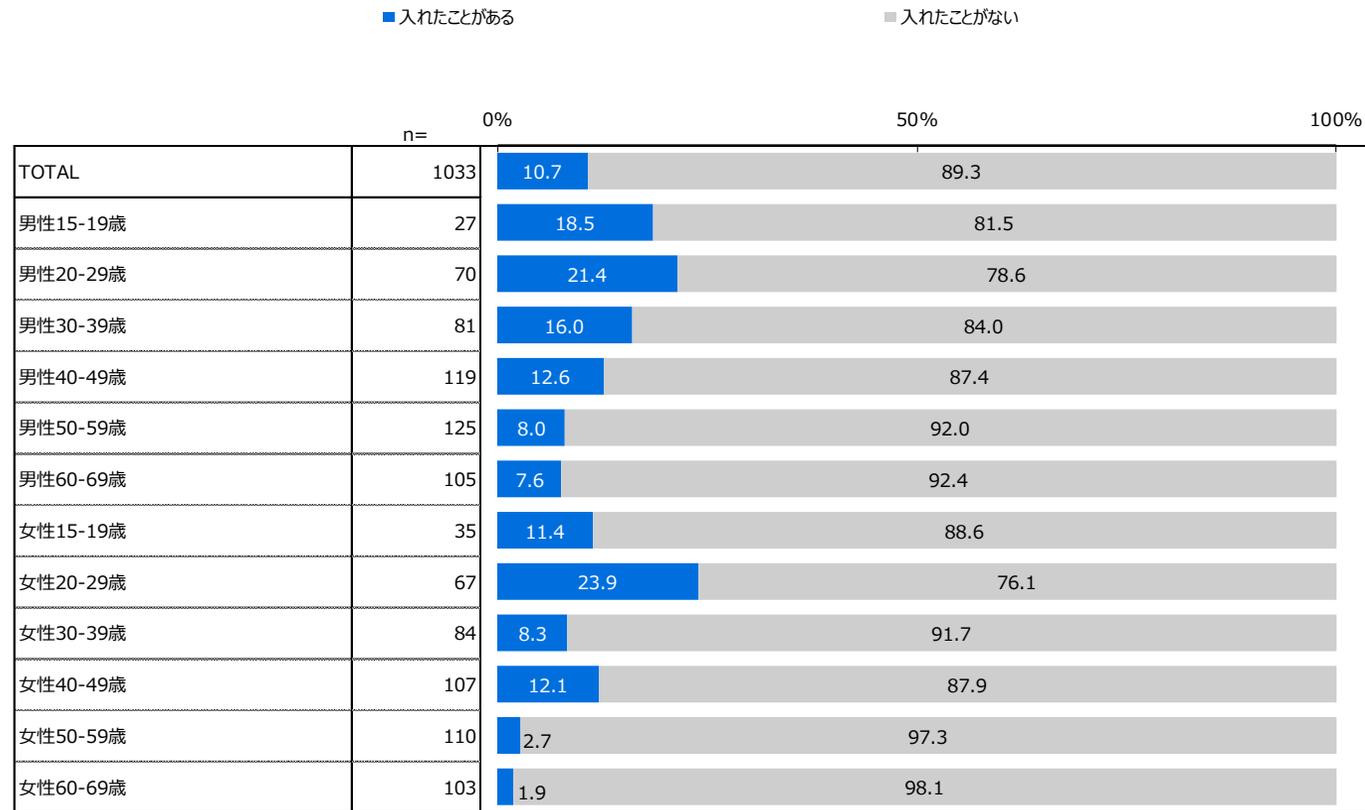


Q12 自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のものを入れた理由をお答えください。（複数回答可）

リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れたことがあるか (SA)



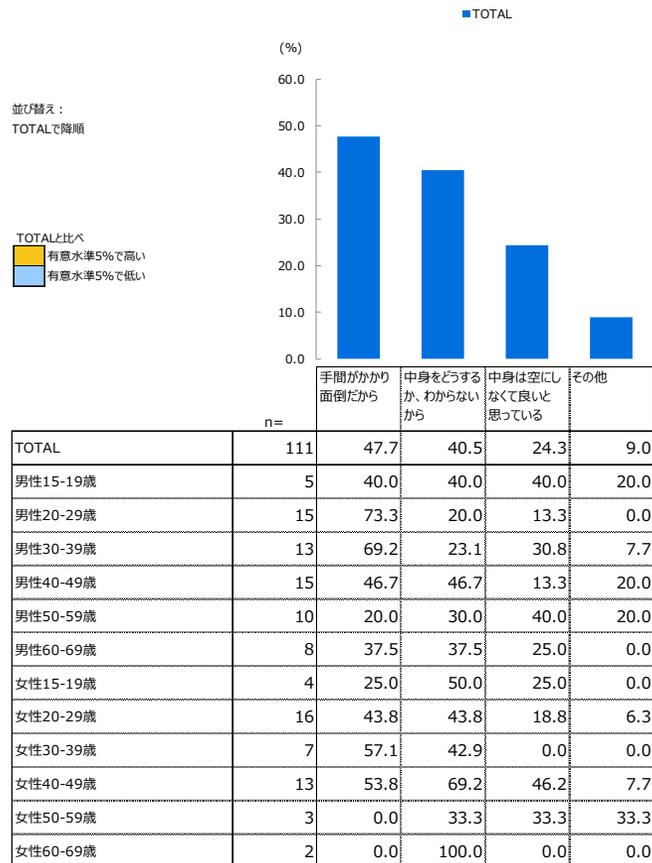
- TOTALでは、「入れたことがある」は10.7%となっている。
- 性年代別にみると、「入れたことがある」は男性20代が21.4%、女性20代が23.9%と他と比べて高い一方、女性50代が2.7%、女性60代が1.9%と低い。



Q13 リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れたことがありますか。

リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れた理由(MA)

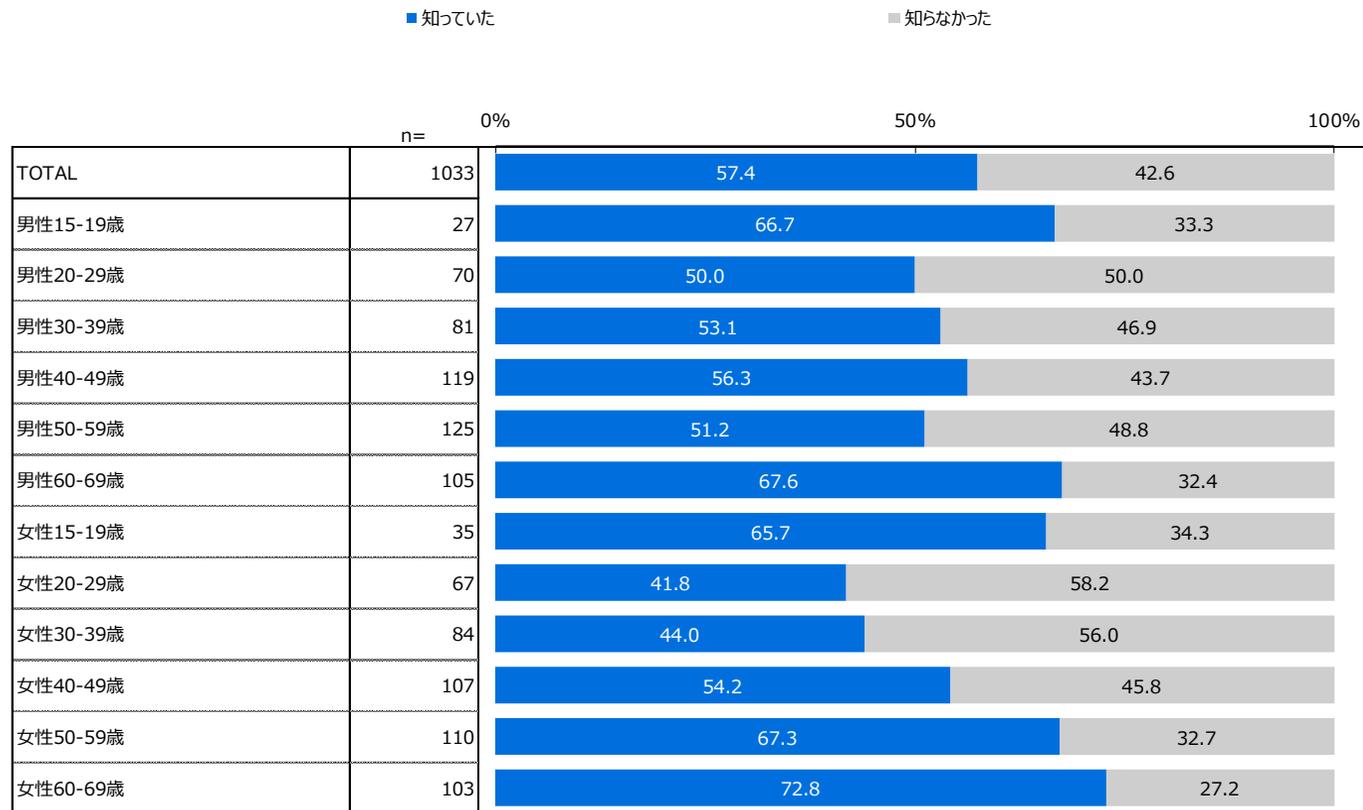
- TOTALでは、「手間がかかり面倒だから」が最も高く、47.7%。「中身をどうするか、わからないから」40.5%、「中身は空にしなくて良いと思っている」24.3%が続く。
- 性年代別では差が見られなかった。



Q14 リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れた理由をお答えください。（複数回答可）

飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」であることの認知度(SA)

- TOTALでは、「知っていた」は57.4%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性60代が67.6%、女性60代が72.8%、女性50代が67.3%と他と比べて高い一方、女性30代が44.0%、女性20代が41.8%と低い。

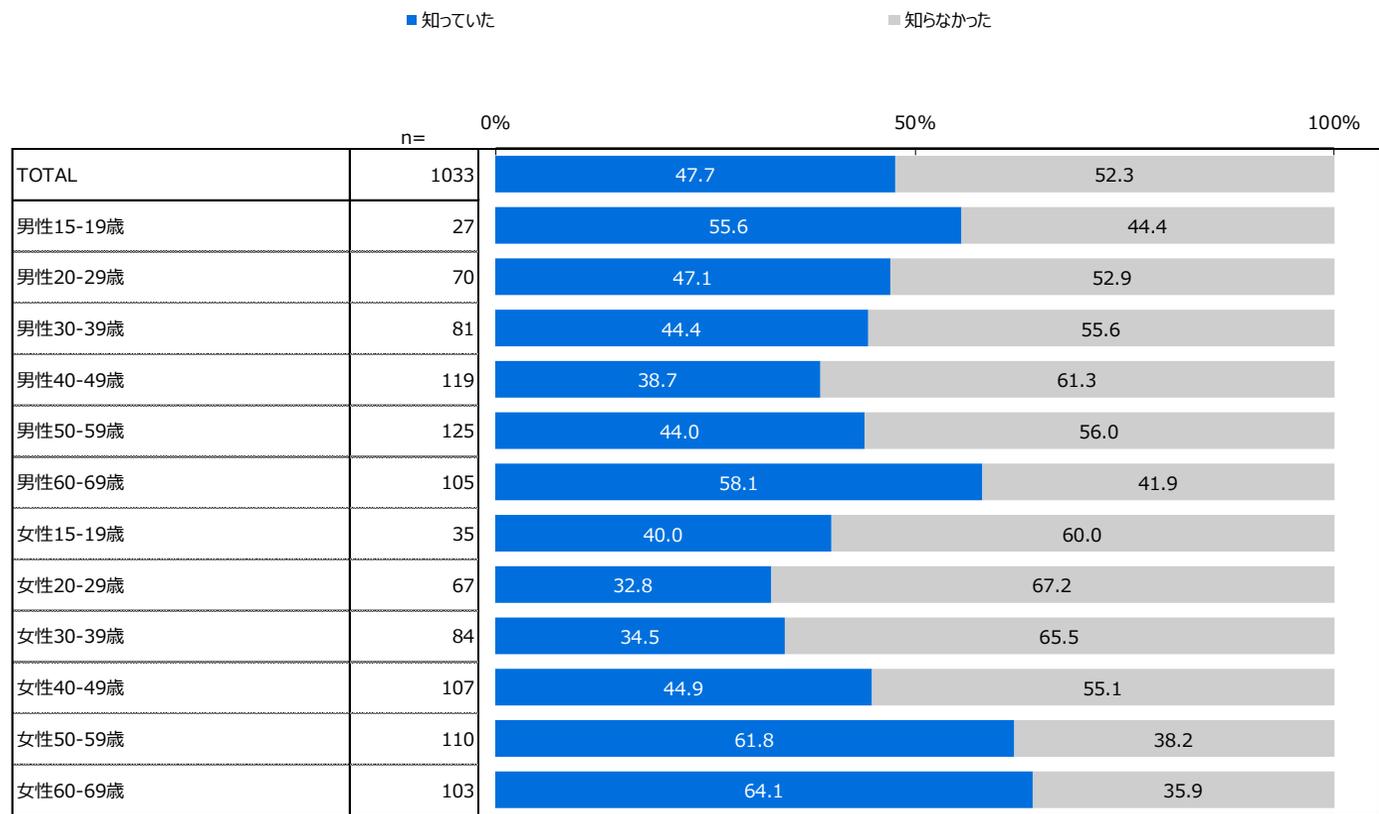


Q15 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」(※) になってしまったことを知っていましたか。 ※「異物」とは、清涼飲料水容器以外のことです。

飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることの認知度(SA)



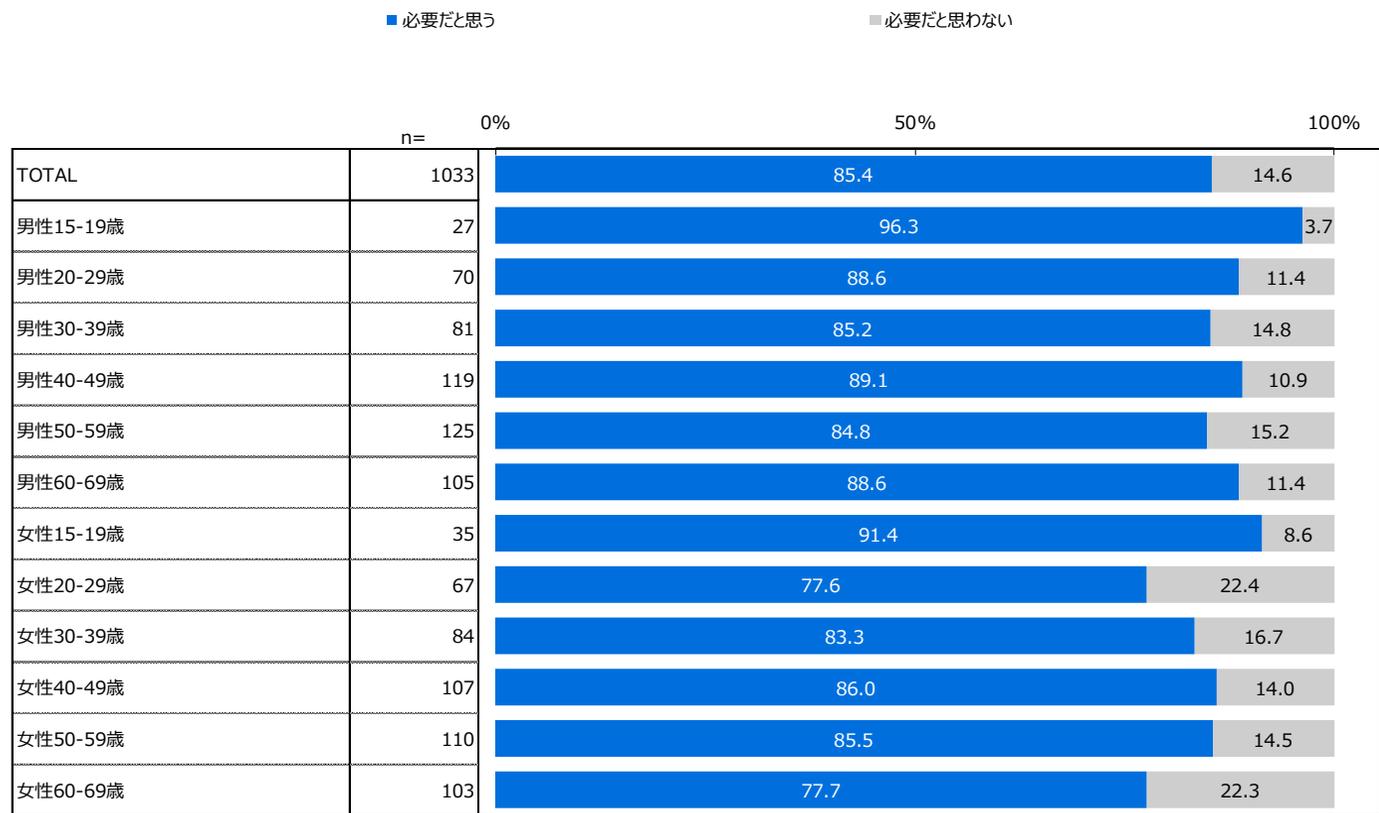
- TOTALでは、「知っていた」は47.7%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は女性60代が64.1%、女性50代が61.8%、男性60代が58.1%と他と比べて高い一方、男性40代が38.7%、女性30代が34.5%、女性20代が32.8%と低い。



Q16 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることを知っていましたか。

公共のごみ箱やリサイクルボックスは必要だと思うか(SA)

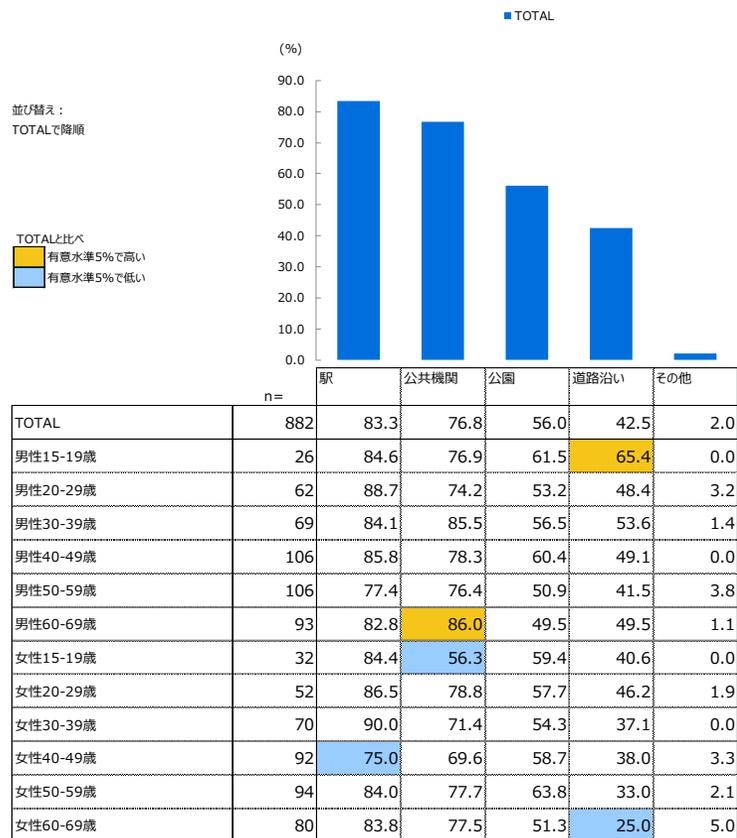
- TOTALでは、「必要だと思う」は85.4%となっている。
- 性年代別にみると、「必要だと思う」は女性60代が77.7%と他と比べて低くなっている。



Q17 自動販売機横のリサイクルボックス以外に、公共のごみ箱やリサイクルボックスは必要だと思いますか。

公共のごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所(MA)

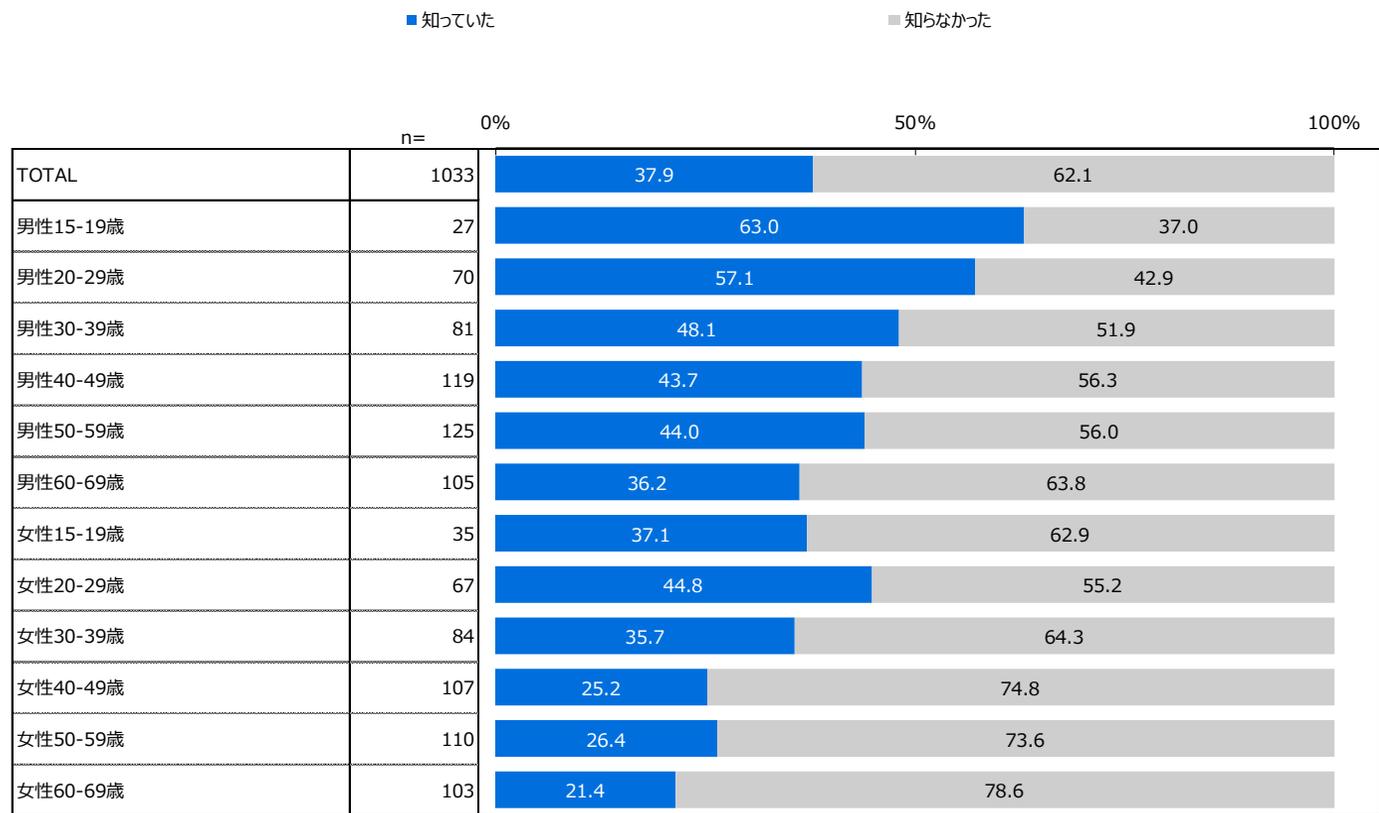
- TOTALでは、「駅」が最も高く、83.3%。「公共機関」76.8%、「公園」56.0%が続く。
- 性年代別にみると、「公共機関」は男性60代が86.0%と他と比べて高い。



Q18 公共のごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所はどこですか。（複数回答可） 前問で「必要だと思う」と答えた方にお聞きます。

新機能の自動販売機横のリサイクルボックスの認知度(SA)

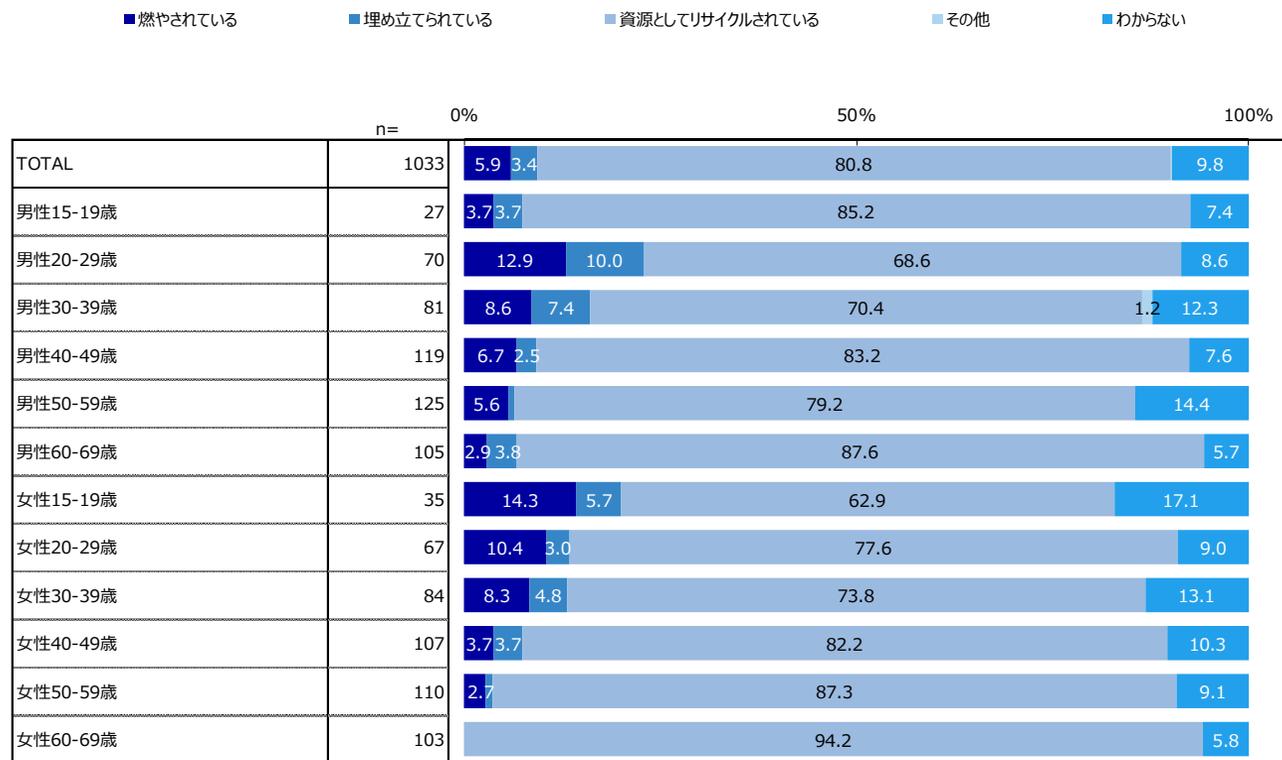
- TOTALでは、「知っていた」は37.9%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性20代が57.1%と他と比べて高い一方、女性40～60代が2割台と低い。



Q19 あなたは、画像のような、新機能（※）の自動販売機横リサイクルボックスを知っていましたか。 ※投入口を下向きにする、口径などを小さくするといった工夫で異物削減を高めています。

飲み終わった後のペットボトルは、回収された後どのように処理されていると思うか(SA)

- TOTALでは、「資源としてリサイクルされている」が最も高く、80.8%。「燃やされている」5.9%、「埋め立てられている」3.4%が続く。
- 性年代別にみると、「資源としてリサイクルされている」は女性60代が94.2%と他と比べて高い。男性20代は「燃やされている」12.9%、「埋め立てられている」10.0%が高くなっている。

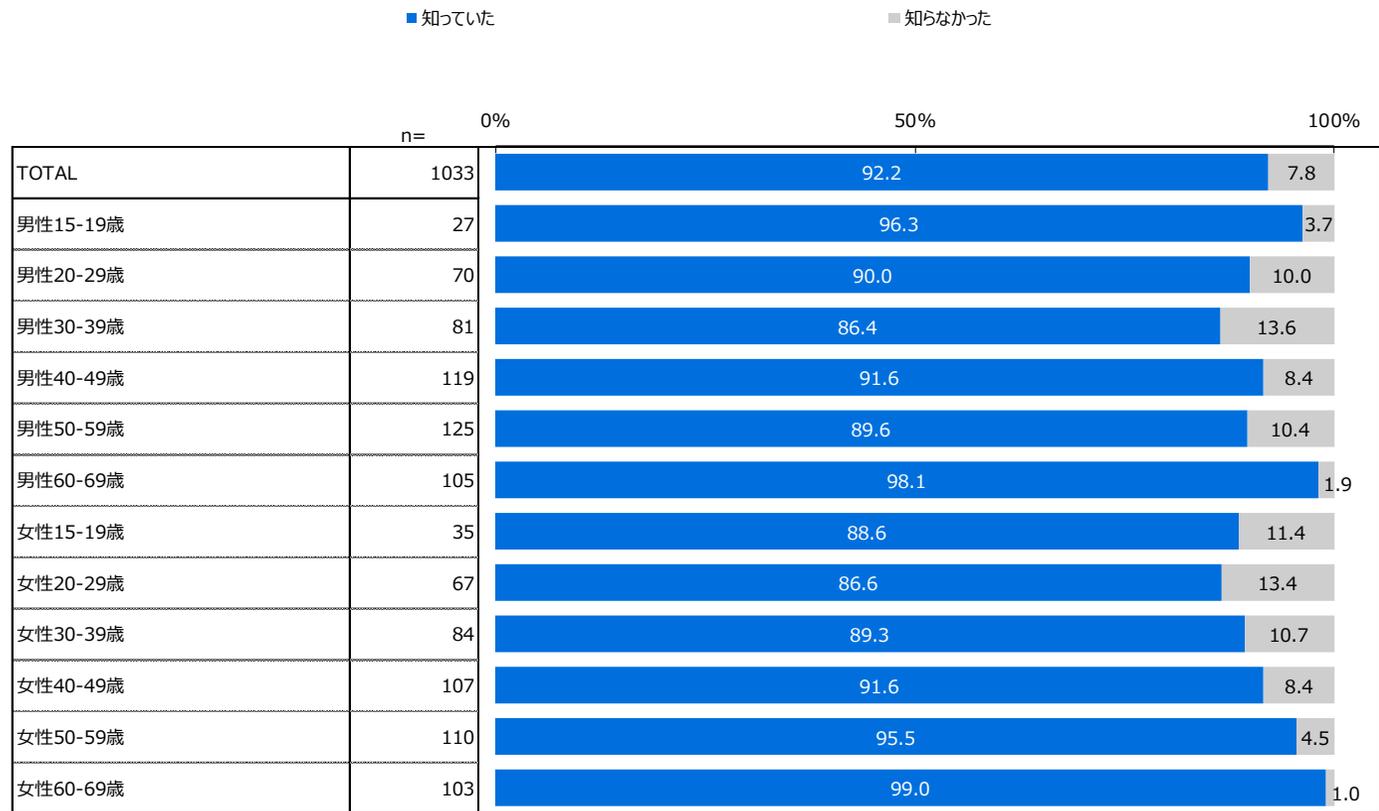


非表示：1%未満

Q20 飲み終わった後のペットボトルは、回収された後どのように処理されていると思いますか。 ※最も当てはまると思うものをお答えください。

ペットボトルが資源として、リサイクルされていることの認知度(SA)

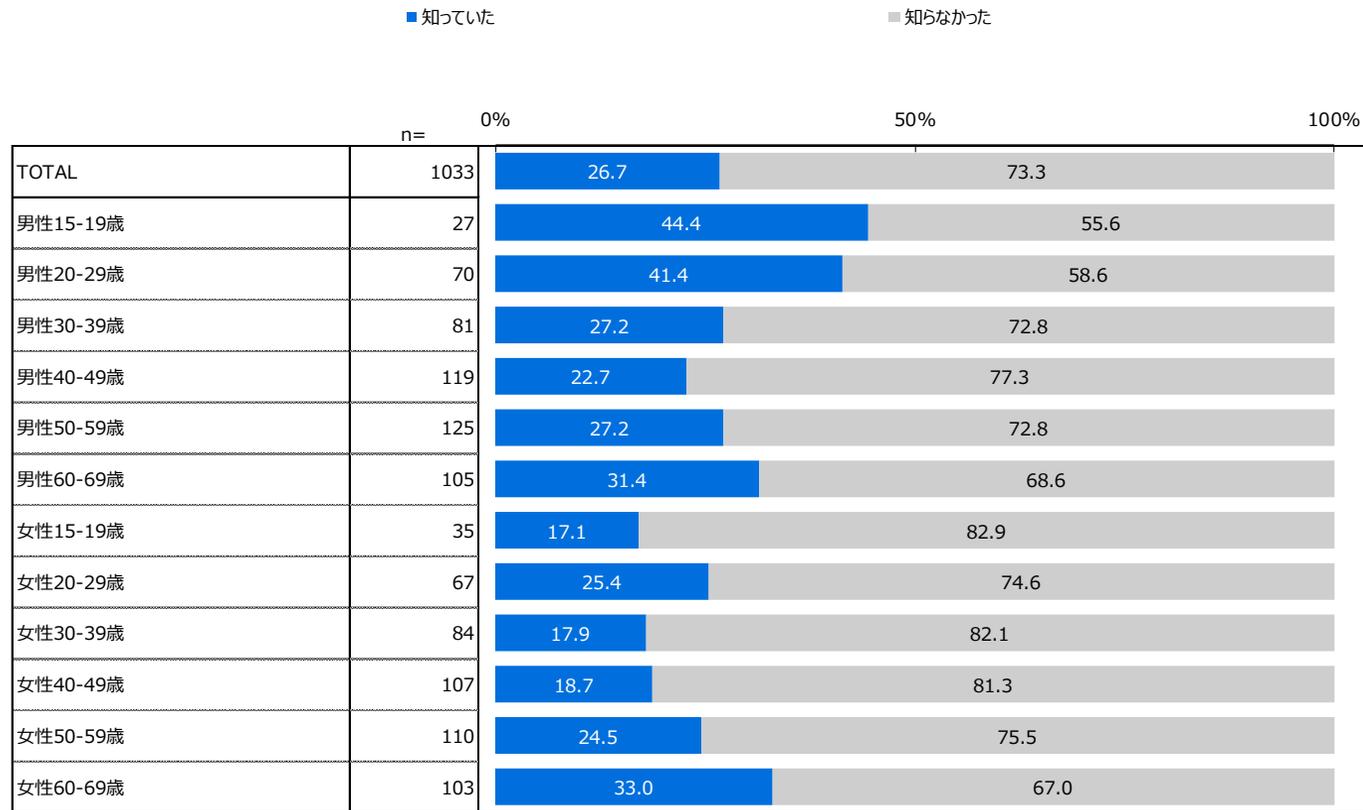
- TOTALでは、「知っていた」は92.2%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性60代が98.1%、女性60代が99.0%と他と比べて高い。



Q21 ペットボトルのリサイクルについてお聞きします。:ペットボトルが資源として、リサイクルされていることは知っていましたか。

日本のペットボトルはリサイクル率87%であることの認知度(SA)

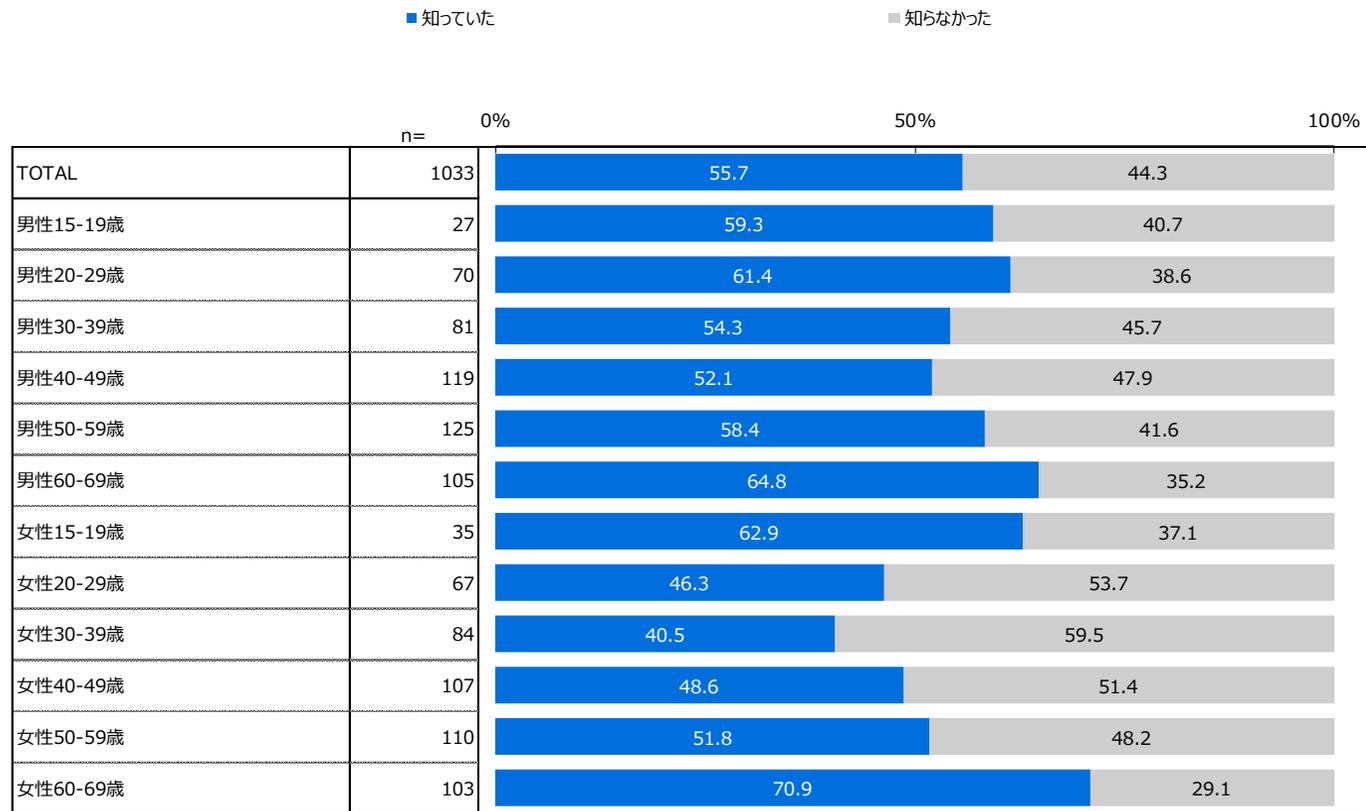
- TOTALでは、「知っていた」は26.7%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性20代が41.4%と他と比べて高い。



Q21 ペットボトルのリサイクルについてお聞きます。:日本のペットボトルはリサイクル率87%ということを知っていましたか。

ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」の認知度(SA)

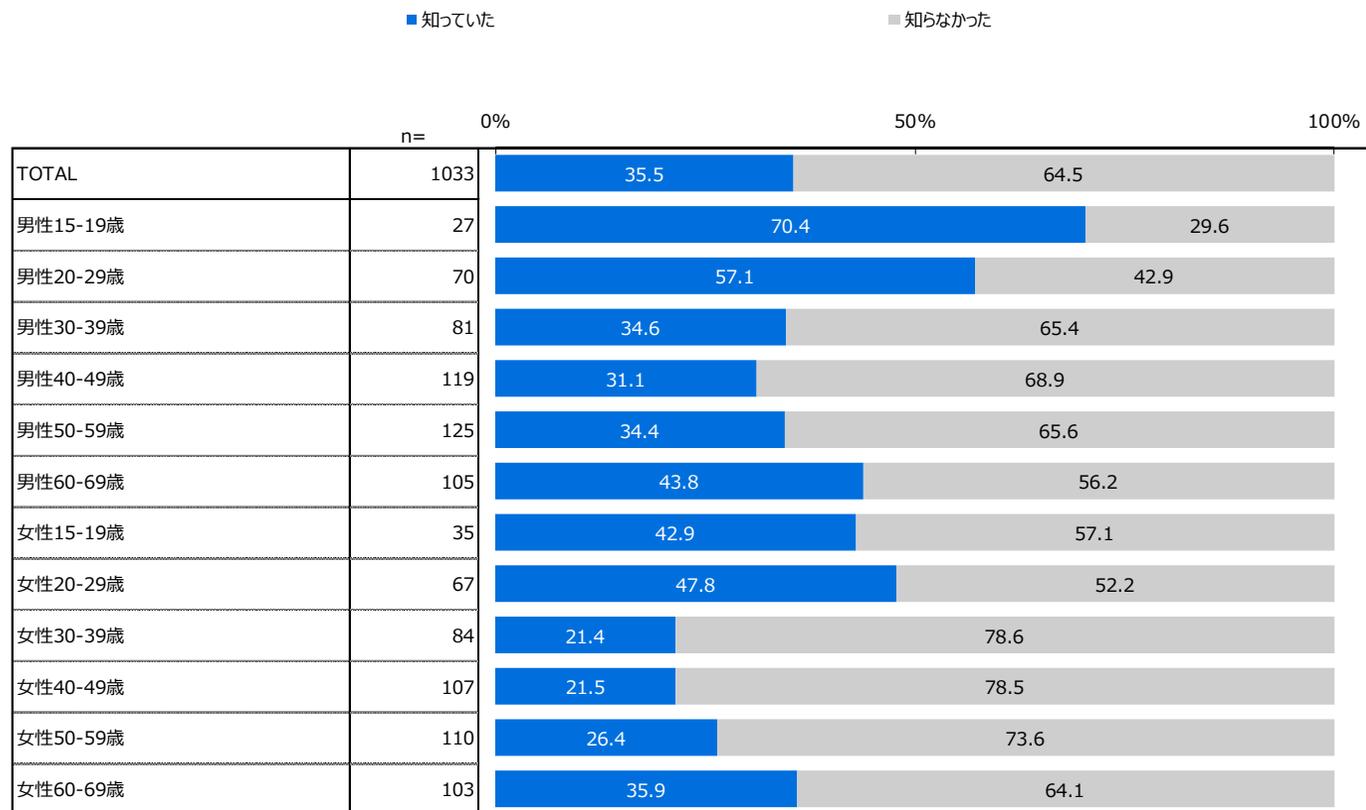
- TOTALでは、「知っていた」は55.7%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は女性60代が70.9%と他と比べて高い一方、女性30代が40.5%と低い。



Q21 ペットボトルのリサイクルについてお聞きます。:ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」を知っていましたか。

ペットボトルは単一素材であるためリサイクルに適していることの認知度(SA)

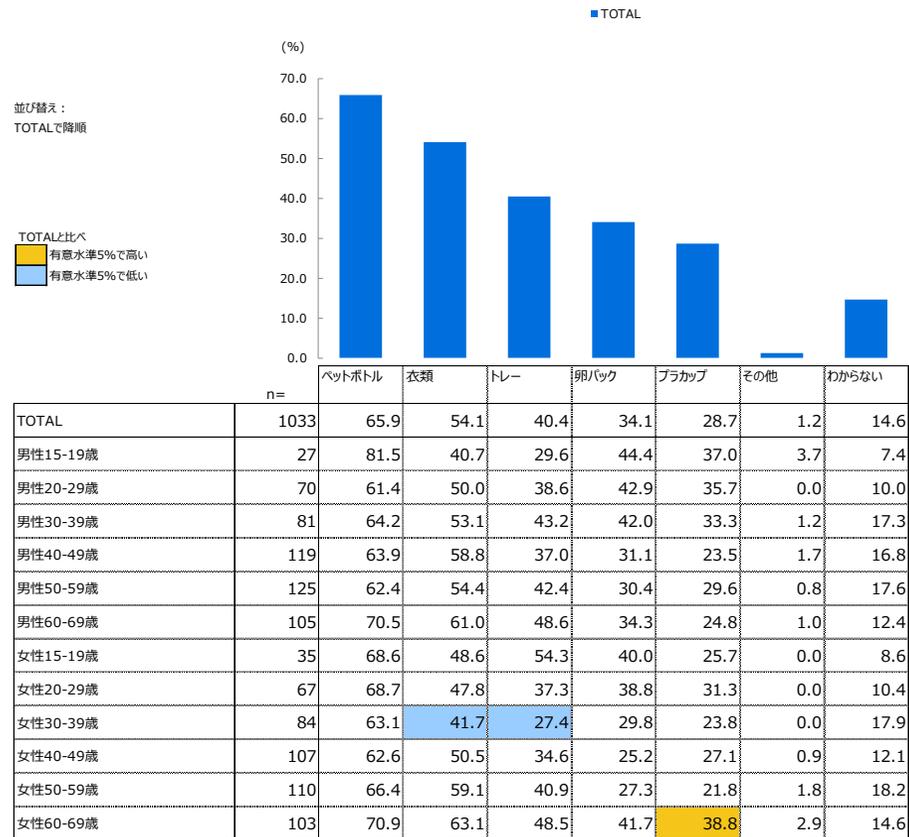
- TOTALでは、「知っていた」は35.5%となっている。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性20代が57.1%、女性20代が47.8%と他と比べて高い一方、女性30～50代は2割台と低い。



Q22 ペットボトルはポリエチレンテレフタレートという単一素材（※）でできています。そのためリサイクルに適していることを知っていましたか。
 ※「単一素材」とは、1種類の素材・原料からできていることを言います。プラスチックには多くの種類があり、リサイクルの際には種類別にプラスチックを分類する必要があります。多くのプラスチック製品は複数の種類のプラスチックを複合的に使用しており、この観点からリサイクルに向けて異なる種類のプラスチックを分別することが大きな課題になります。ペットボトルは単一素材でできているので、きれいに回収すればただちにリサイクルのプロセスに回せます。

ペットボトルはリサイクルされて何になると思うか(MA)

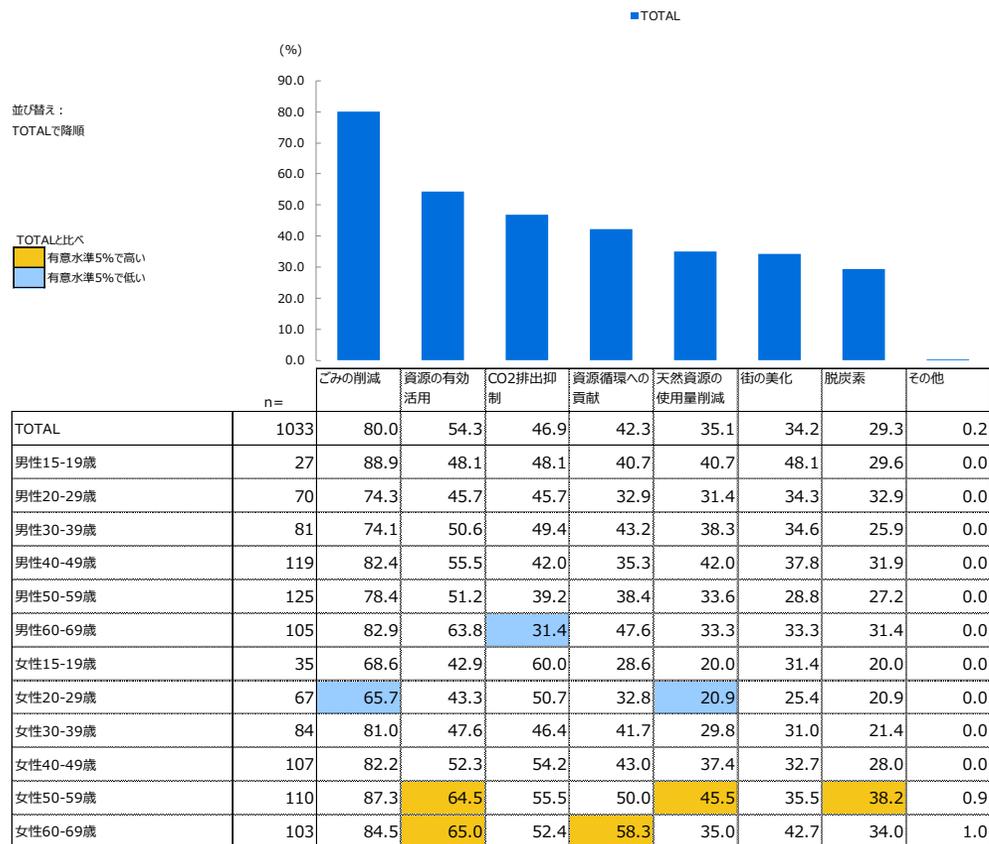
- TOTALでは、「ペットボトル」が最も高く、65.9%。「衣類」54.1%、「トレー」40.4%が続く。
- 性年代別にみると、「プラカップ」は女性60代が38.8%と他と比べて高い。



Q23 ペットボトルはリサイクルされて何になると思いますか。(複数回答可)

ペットボトルのリサイクルに特に期待すること(MA)

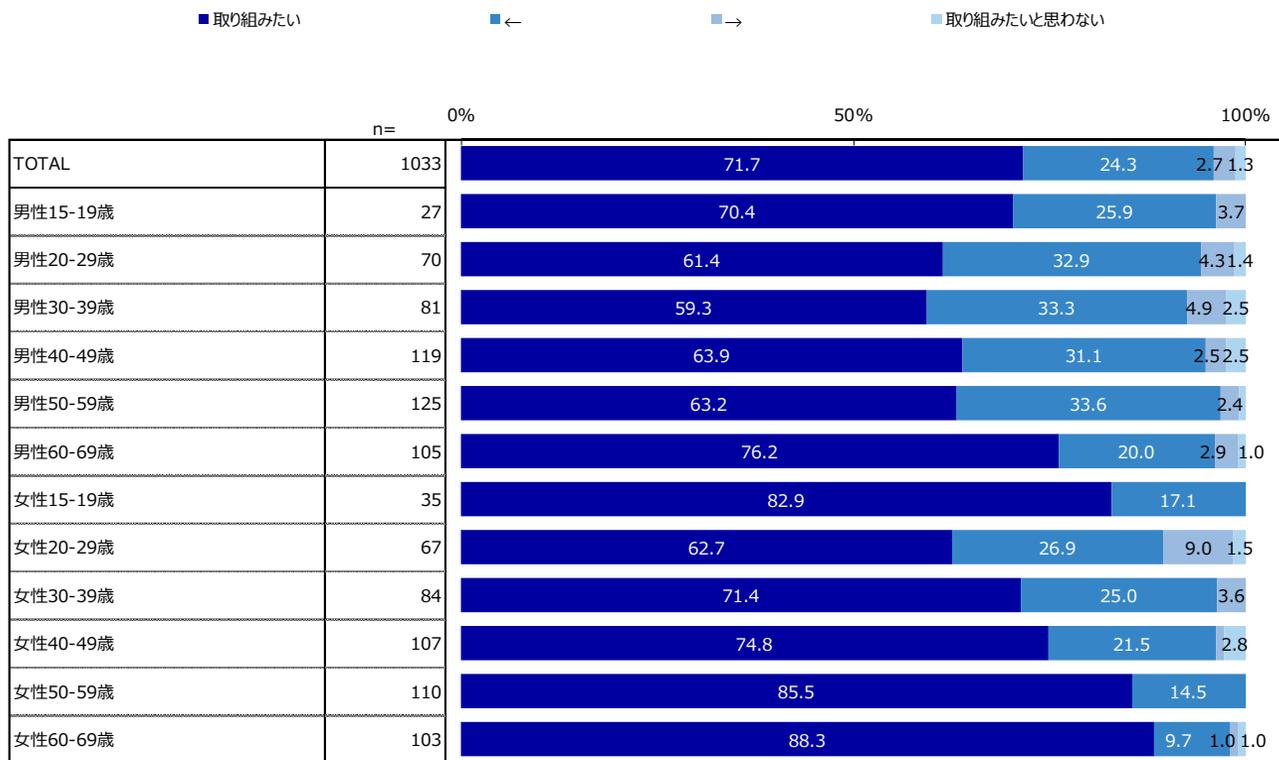
- TOTALでは、「ごみの削減」が最も高く、80.0%。「資源の有効活用」54.3%、「CO2排出抑制」46.9%が続く。
- 性年代別にみると、女性50代は他と比べて「資源の有効活用」（64.5%）、「天然資源の使用量削減」（45.5%）、「脱炭素」（38.2%）が高い。また、女性60代は他と比べて「資源の有効活用」（65.0%）、「資源循環への貢献」（58.3%）が高くなっている。



Q24 ペットボトルのリサイクルは様々な効果があります。あなたが特に期待することは何ですか。（複数回答可）

今後、清涼飲料水容器のリサイクルにどの程度積極的に取り組むか(SA)

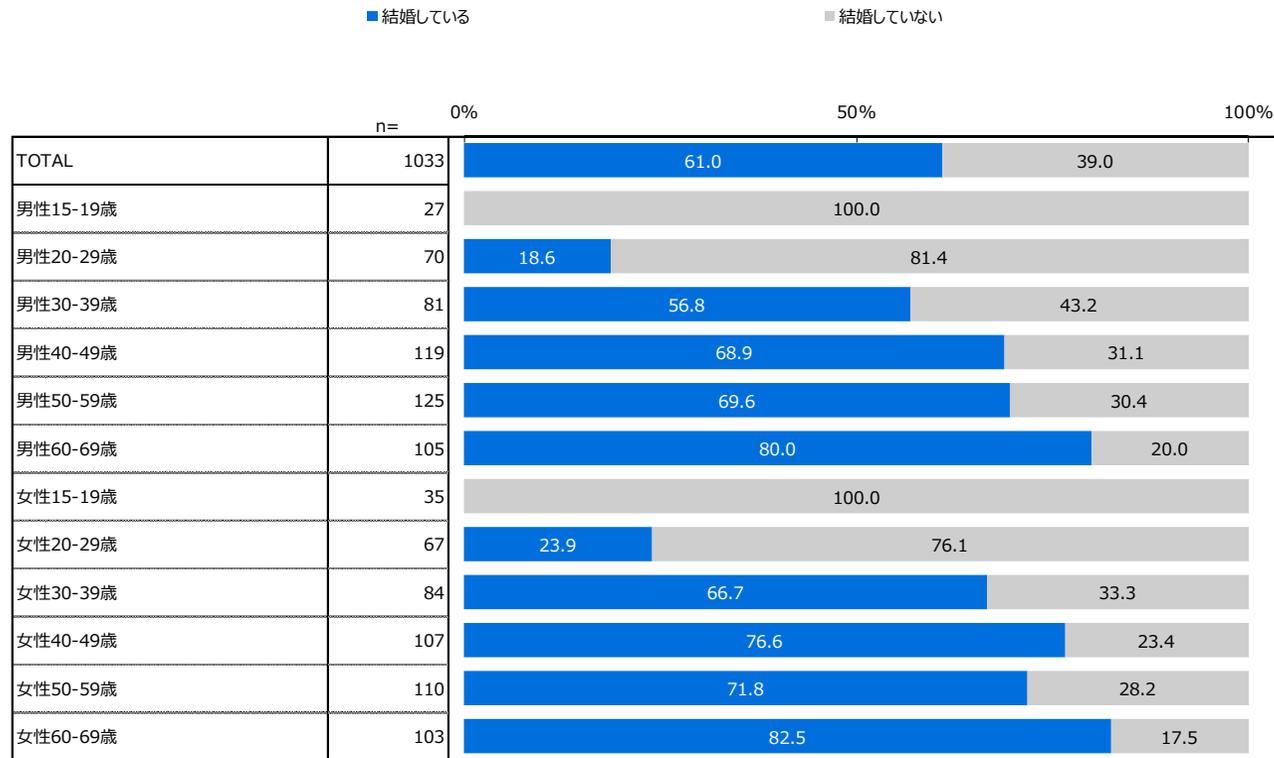
- TOTALでは、「取り組みたい (TOP2項目の合計)」は96.0%となっている。
- 性年代別にみると、「取り組みたい (TOP2項目の合計)」は女性10代と女性50代が100%、女性60代が98.0%と他と比べて高い。



非表示：1%未満

Q25 あなたは今後、清涼飲料水容器のリサイクルにどの程度積極的に取り組みたいですか。

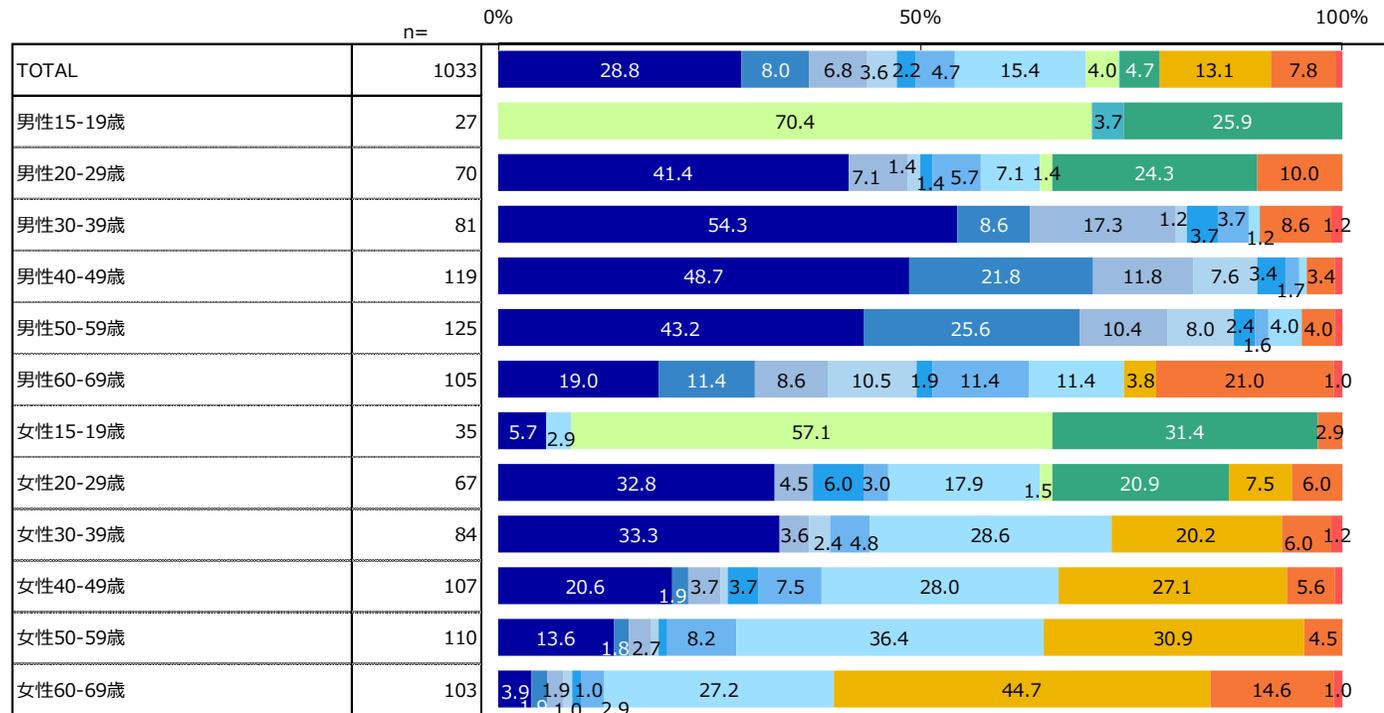
[属性] 未既婚(SA)



非表示：1%未満

[属性] 職業(SA)

- 会社員
- 会社役員・管理職
- 公務員・団体職員
- 自営業
- 自由業・専門職
- 派遣・契約社員
- パート・アルバイト
- 高校生
- 予備校生
- 専門学校生・短期大学生・大学生・大学院生
- 専業主婦・専業主夫
- 無職
- その他

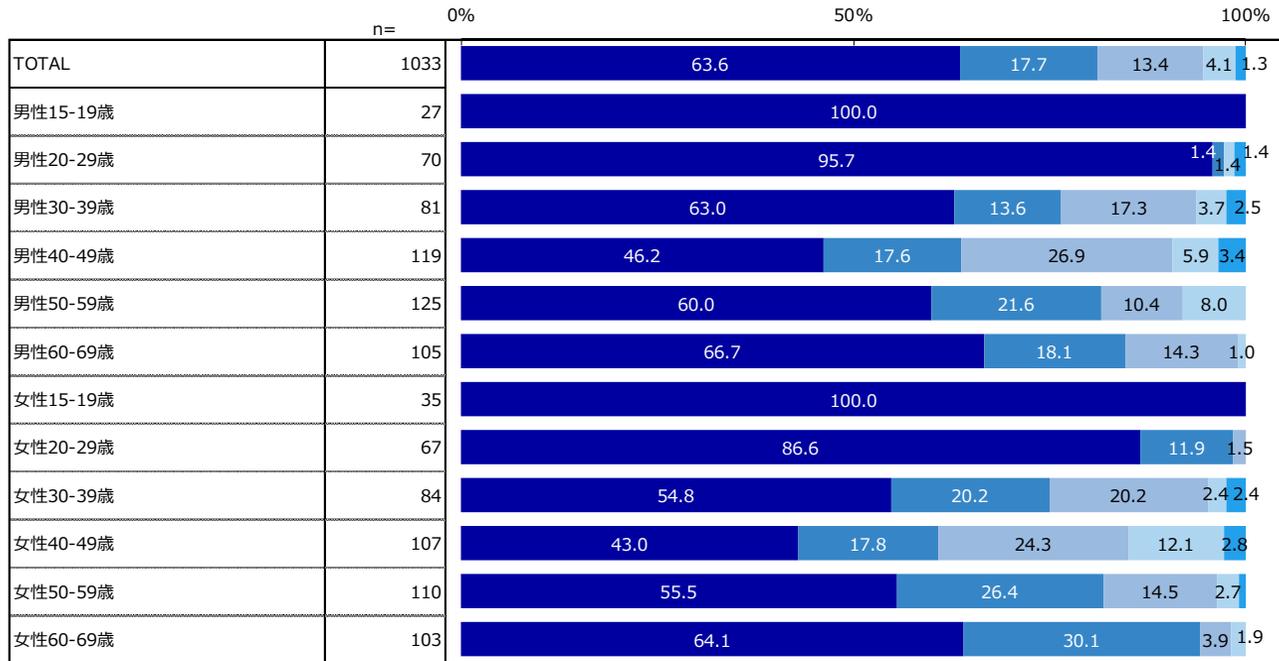


非表示：1%未満

[属性] 同居子供人数(SA)



■ 0人 ■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上



非表示：1%未満